

第5章 地域別構想

地域別構想の概要（地域づくりの基本的な考え方・目標）

市街地中心地域

高次都市機能が集積する、歴史と文化が薫る多彩で美しく活力のある広域交流都市づくり

市街地中心地域は、人の交流や物流、産業活動において本市の中心的役割を担う地域です。

- 本市の中心として、高次都市機能の集積や、回遊性の向上を図った魅力あるまちづくりを推進します。
- 都市に身近な緑や水辺空間との共存を図り、多世代が住み続けられる快適で生活利便性の高いまちなか居住の充実を図ります。
- 斜面地や河川環境との共存を図り、自然災害に対応する施設整備や防災意識の向上など、事前防災対策の整備を推進します。

人口	172,192人
世帯数	81,104世帯
高齢化率	34.1%
人口密度	21.89人/ha

(令和2年国勢調査)

P78～P103

市街地東部地域

交通利便性を活かした身近な自然と産業が調和する、居住性に優れた都市づくり

市街地東部地域は、周防灘に面した農地と山地の間に市街地が形成され、小月インターチェンジを中心に交通利便性に優れた地域です。

- 交通利便性を活かした産業の立地促進を図り、職住環境の整った住みやすいまちづくりを推進します。
- 川や海、山々に囲まれた身近な自然と共生する居住性に優れたまちづくりを推進します。
- 河川沿いや河口周辺の広大な農地の保全を図り、浸水、湛水などの被害を防止するため、河川整備と水災害リスクに備えた土地利用を推進します。

人口	25,438人
世帯数	10,298世帯
高齢化率	31.2%
人口密度	3.47人/ha

(令和2年国勢調査)

P104～P107

市街地西部地域

美しい響灘の海と緑豊かな自然、地域の産業を活かした都市づくり

市街地西部地域は、国道191号下関北バイパスの整備により、市街地中心地域との結びつきが強まっている地域です。

- 水産研究機能の強化や、海水浴場、深坂自然の森、下関北運動公園などにおけるレクリエーションゾーンの形成など、恵まれた海と緑を活用したまちづくりを推進します。
- 市街地と山地の間をつなぎ、身近に自然とふれあえる地域として、豊かな自然環境を活かしたまちづくりを推進します。
- 河川環境の保全と活用を図り、浸水、湛水などの被害を防止するため、河川整備と水災害リスクに備えた土地利用を推進します。

人口	20,417人
世帯数	8,710世帯
高齢化率	36.9%
人口密度	4.76人/ha

(令和2年国勢調査)

P108～P111

菊川・内日地域

P112~P115

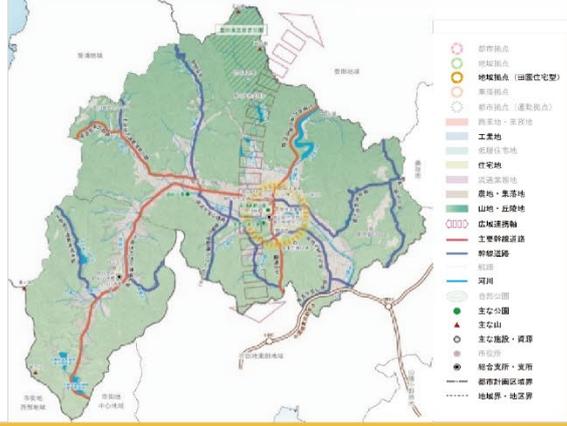
豊かな自然や農業と共生する、田園住宅都市づくり

菊川・内日地域は、中央部の盆地に農地や市街地が形成され、小月インターチェンジに近く、市街地東部地域へのアクセスが良い地域です。

- 本地域背後の豊田県立自然公園や自然活用村、道の駅や菊川温泉など、様々な地域資源を活かし、多様な交流を育むまちづくりを推進します。
- 豊かな自然環境、良好な営農環境と調和した、快適でやすらぎのある居住環境の形成を図ります。
- 盆地の四方を取り囲む山地の保全を図るとともに、河川環境の保全と活用を図り、親水空間の確保を図ります。

人口	8,262人
世帯数	3,204世帯
高齢化率	40.8%
人口密度	0.73人/ha

(令和2年国勢調査)



豊浦地域

P116~P119

観光交流・地域資源を活かした魅力あふれる田園住宅都市づくり

豊浦地域は、海岸沿いに市街地が形成され、川棚温泉など様々な地域資源を有している地域です。

- 美しい景観を有する海岸線や市街地後背の山林、川棚温泉など豊富な地域資源を活かし、多様な交流を育むまちづくりを推進します。
- 田園住宅地に相応しい快適な居住環境の形成を図ります。
- 河川環境の保全と活用を図り、防災性の向上を図るための整備を推進します。

人口	16,232人
世帯数	6,962世帯
高齢化率	44.1%
人口密度	2.14人/ha

(令和2年国勢調査)



豊田地域

P120 ~ P123

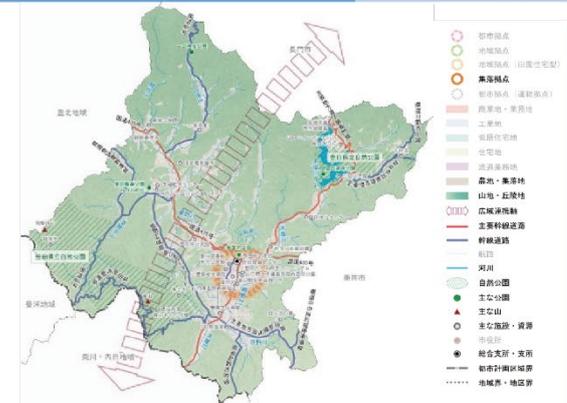
美しい水辺と豊かな緑と共生する、やすらぎと潤いのある観光交流地域づくり

豊田地域は、豊田湖や華山など良好な自然環境に恵まれ、地域中央部にまとまった市街地が形成されている地域です。

- ホテルをテーマにした地域振興を活かすべく、自然と共生した地域の魅力づくりを推進します。
- 自然環境の積極的な保全を図り、生活にやすらぎと潤いを感じられる地域を推進します。
- 河川環境の保全と活用を図り、親水空間の確保を図るとともに、自然災害時の輸送路などの確保を図ります。

人口	4,620人
世帯数	1,959世帯
高齢化率	49.6%
人口密度	0.28人/ha

(令和2年国勢調査)



豊北地域

P124 ~ P127

美しい海岸線と豊かな緑に包まれた、自然と歴史の観光交流地域づくり

豊北地域は、角島をはじめとして多くの観光客が訪れる海洋リゾート環境に恵まれた地域です。

- 広域観光地として交通機能の充実と連携強化を図り、これらを地域振興に活かすべく自然と歴史の共生した地域の魅力づくりを推進します。
- 緑豊かな山々や美しい海岸の景観を保全し、自然環境と集落が調和したやすらぎのある地域を推進します。
- 海岸線と河川環境の保全と活用を図るとともに、自然災害時の輸送路などの確保を図ります。

人口	7,890人
世帯数	3,580世帯
高齢化率	55.4%
人口密度	0.47人/ha

(令和2年国勢調査)



5-1 地域別構想の構成

全体構想

都市づくりの基本理念

安全・安心で持続可能な都市づくりを目指し、
地域ごとにコンパクトで快適に暮らせる土地利用を図る

活力・交流都市

快適・自然都市

安全・安心都市

地域別構想

市街地中心地域 (P78~)

中心地区 (P80~)

山の田地区 (P84~)

彦島地区 (P88~)

勝山地区 (P92~)

長府地区 (P96~)

川中地区 (P100~)

市街地東部地域 (P104~)

市街地西部地域 (P108~)

菊川・内日地域 (P112~)

豊浦地域 (P116~)

豊田地域 (P120~)

豊北地域 (P124~)

地域別構想の目的

地域別構想は、全体構想に示された整備の方針を受け、地域の特性に応じた目標や実施されるべき施策を明らかにします。

地域区分の考え方

地域区分は、地形等の自然的条件、土地利用の状況、幹線道路等の交通軸、日常生活上の交流の範囲、区域区分等を考慮して、①~④のとおり設定します。

- ① 下関都市計画区域、下関北都市計画区域、都市計画区域外に区分
- ② 都市構造上の機能連携や生活圏域等を考慮
市街地中心地域、市街地東部地域、市街地西部地域に区分
- ③ 地域の文化や特性、日常生活の交流範囲等を考慮
菊川・内日地域、豊浦地域、豊田地域、豊北地域に区分
- ④ 市街地中心地域は、人口密度が高い特性から、中学校区単位で設定
中心地区、山の田地区、彦島地区、勝山地区、長府地区、川中地区の6地区に区分

地域づくりの基本的な考え方・目標

地域の現状・課題、市民意向、求められる地域の役割を踏まえ、基本的な考え方を設定し、地域づくりの目標を定めます。

○目標設定の視点

地域の資源・個性を活かした各地域のまちづくりを推進するため、全体構想を踏まえた視点をもって各種方針等を作成します。

視点①：活力・交流

視点②：快適・自然

視点③：安全・安心

主要施策、その他施策

各種生活サービスを確保するべく、各地域拠点の視点と地域をつなぐ連携軸の視点から分類して設定します。

- 土地利用・市街地整備（拠点形成）
- 都市施設整備（交通体系整備等）
- 都市防災・その他施設整備
- 環境保全・環境形成・景観形成

* 各地域の現況と課題については参考資料参照

地域区分図



都市計画区域外

都市計画法による規制と誘導から離れ、国土利用計画法や過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法などの各種法令によって土地利用を図ります。

豊北地域	豊田地域
------	------

下関北都市計画区域（非線引き）

市街化区域と市街化調整区域の区分のない区域です。豊浦地域の既成市街地周辺において用途地域等を定め、それ以外の区域は特定用途制限地域を定めることで、土地利用の規制と誘導を図ります。

豊浦地域	菊川・内日地域
	菊川地区 内日地区

下関都市計画区域（線引き）

市街化区域と市街化調整区域の区分のある区域です。

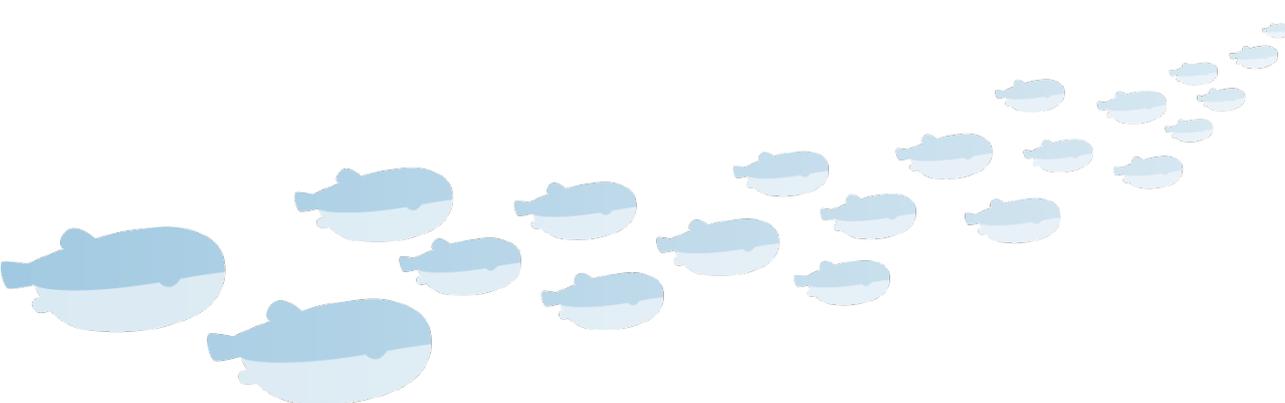
市街化区域

既に市街地を形成している区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図る区域です。

市街化調整区域

市街化を抑制する区域です。開発行為は原則として禁止され、市街化を促進するような都市施設の整備は行わず、農林漁業等の振興を図ります。

市街地西部地域	市街地東部地域
安岡地区 吉見地区	小月地区 王司地区 清末地区 王喜地区 吉田地区
市街地中心地域	
中心地区 彦島地区	山の田地区 長府地区 勝山地区 川中地区



5-2 市街地中心地域



(1) 地域づくりの基本的な考え方

高次都市機能が集積する、歴史と文化が薫る
多彩で美しく活力のある広域交流都市づくり

【地域づくりの目標】

- ＜活力・交流＞ ○本市の中心として、高次都市機能の集積や、回遊性の向上を図った魅力あるまちづくりを推進します。
- ＜快適・自然＞ ○都市に身近な緑や水辺空間との共存を図り、多世代が住み続けられる快適で生活利便性の高いまちなか居住の充実を図ります。
- ＜安全・安心＞ ○斜面地や河川環境との共存を図り、自然災害に対応する施設整備や防災意識の向上など、事前防災対策の整備を推進します。

(2) 地区の分割の考え方

市街地中心地域は、第3章で示した各拠点に応じて以下の6地区を設定し、地区ごとに主要施策、その他施策、構想図を示します。各拠点の範囲は、日常生活上のまとまりある空間として、中学校区単位を踏まえて設定します。

中心地区：日新中、向洋中、名陵中、文洋中 校区

山の田地区：山の田中 校区

彦島地区：彦島中、玄洋中 校区

勝山地区：勝山中 校区

長府地区：長府中、長成中 校区

川中地区：川中中、垢田中 校区



▲火の山からみた市街地中心地域①

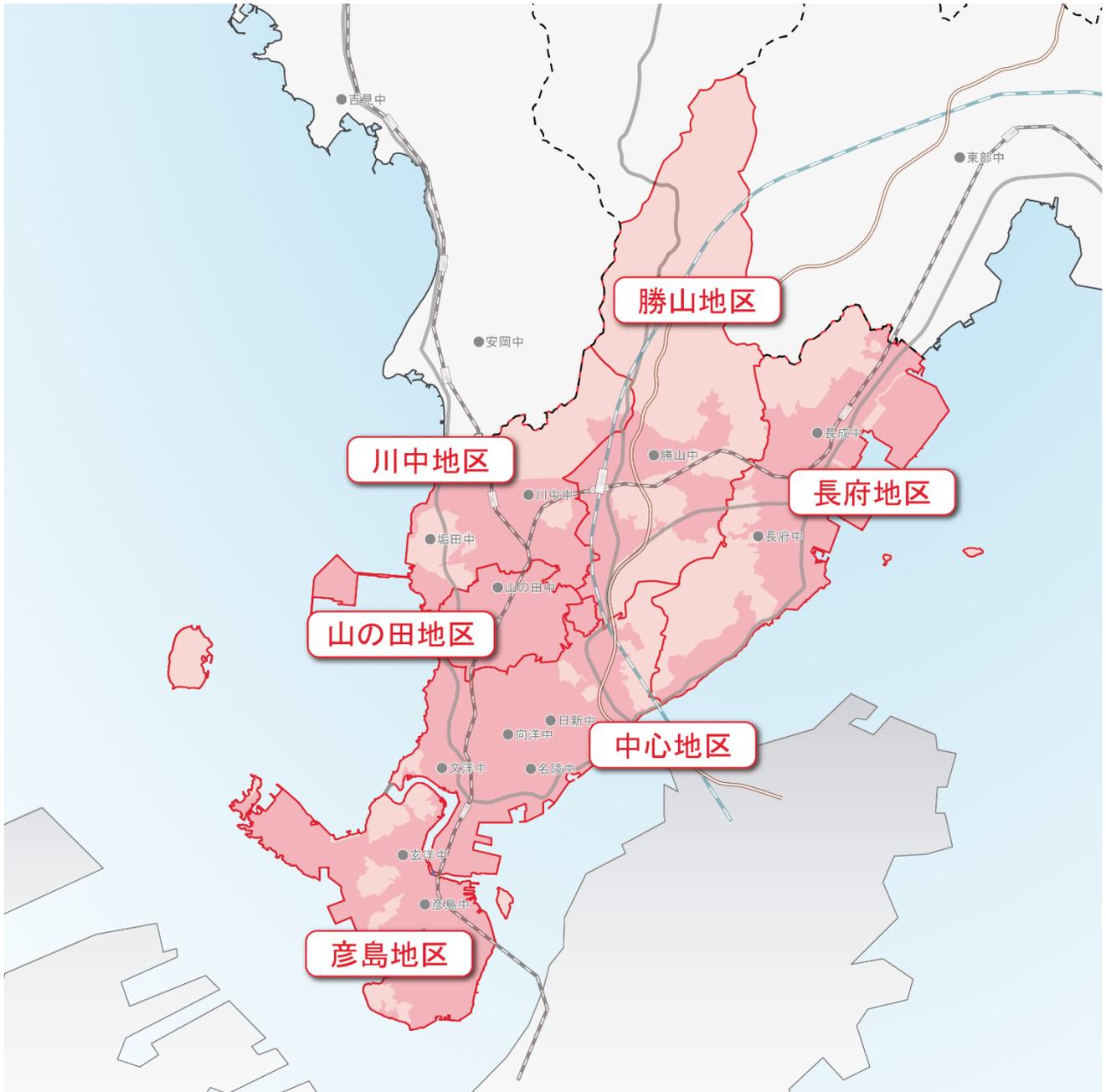


▲市街地中心地域の鳥瞰



▲火の山からみた市街地中心地域②

●市街地中心地域 地区位置図



中心地区	P 80 ~ P 83
山の田地区	P 84 ~ P 87
彦島地区	P 88 ~ P 91
勝山地区	P 92 ~ P 95
長府地区	P 96 ~ P 99
川中地区	P100 ~ P103

(1) 中心地区

1) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

都市拠点

- J R 下関駅から唐戸地区周辺にかけての市街地は、本市の中心的な役割を担う都市拠点として、既存の都市機能を活かし、多面的な機能が複合集積する市街地形成やまちなか居住の誘導を図ります。
- あるかぼーとなどの臨海部周辺は、オフィス誘致や宿泊施設の誘致、賑わいづくりの実証実験などにより、海を活かした都市機能を集積させるエリアの形成と回遊性の向上を図ります。

都市拠点（運動拠点）

- 下関運動公園は、基幹的な運動施設の集積を活かし、多様なスポーツニーズへの対応や防災拠点性を高めるため、新総合体育館の整備を図ります。

観光ゾーン

- 火の山公園は、観光地としての保全と魅力づくりを図るため、イベント等の賑わい創出とともに、P F I の活用など施設再編に向けた取り組みを推進します。
- 関門海峡に面するウォーターフロントは、観光客と市民の憩い・賑わいの場として、海響館の改修、宿泊施設の誘致を図ります。

産業・流通ゾーン

- 臨海部の工業地は、水産加工、流通業務、重工業を中心とした産業・流通ゾーンとして、産業の効率化を進め、交通アクセスとマルチモーダルによる立地条件の向上や、環境面や防災上の改善を図り、工業地の維持と企業立地の促進を図ります。

都市防災・その他施設整備

- 防災性が高い都市基盤整備と良好な市街地環境の整備を図ります。
- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 長府・壇ノ浦地区及び山陽地区は、国・県と連携して下関港海岸の高潮対策等の推進を図ります。
- 斜面市街地などの防災性・居住環境上の課題を抱える区域は、まちなか再生や防災性の向上などの施策を推進するとともに土地利用のあり方を検討します。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 都市拠点に相応しい交通基盤の充実を図ります。
- 安全で安心な歩いて暮らせる都市環境の創出を図ります。
- 関門地域の連携による市域を越えた交流・産業の活性化に向け、下関北九州道路の整備促進を図り、下関西道路の整備を推進します。
- 国道2号、国道9号、国道191号、国道191号下関北バイパスなどを主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- (主) 下関港線、(一) 下関港安岡線などを幹線道路として位置づけ、未整備区間の整備を図るなど、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図ります。

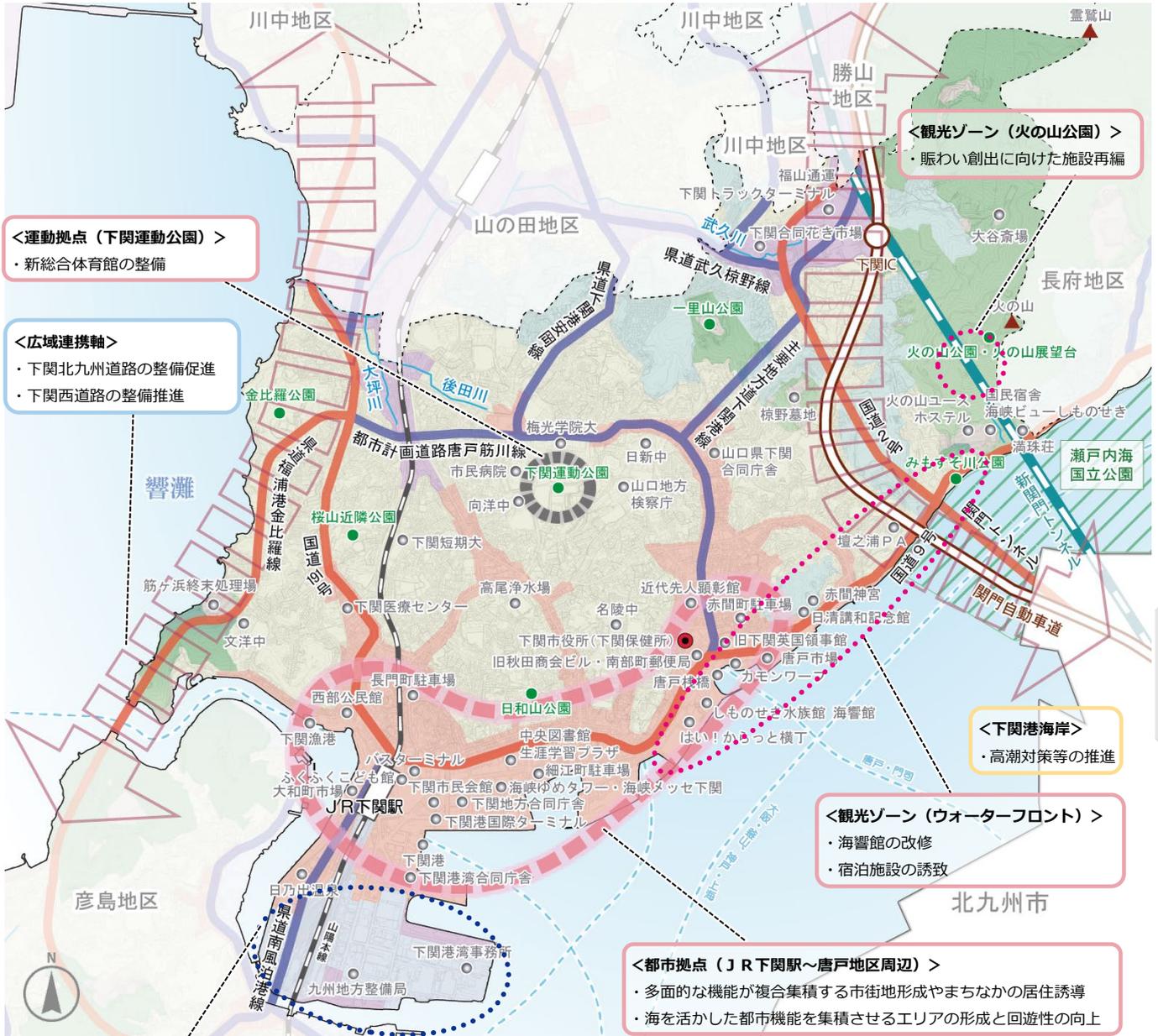
公共交通

- 広域交通の拠点として公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- J R 下関駅周辺は、下関港国際ターミナルやバスターミナルなどが集積し、主要な交通結節点として、各施設を結ぶ歩行者通路等の確保・バリアフリー化や駅前広場・案内誘導などの整備を図るなど、都市拠点に相応しい駅周辺整備と交通結節機能の充実を図ります。
- J R 下関駅は、サイクルアンドライドやキスアンドライドなどによる利用促進に努めます。

環境保全・環境形成・景観形成

- 身近な海や山の自然、歴史文化資源を活かし、ふれあいの場の創出を図ります。
- 関門景観を臨むみなとまちとして、良好な市街地景観の形成を図ります。
- 都市拠点に相応しい景観形成及びその他周辺の良好なまちなみ景観の形成を図ります。

●地域別構想図（市街地中心地域 中心地区）



<産業・流通ゾーン>

- ・交通アクセスとマルチモーダルによる立地条件の向上
- ・環境面や防災上の改善による工業地の維持
- ・企業立地の促進

<JR下関駅及び周辺>

- ・交通結節機能の充実とバリアフリー化
- ・サイクルアンドライドやキスアンドライドの利用促進

	都市拠点		広域連携軸		都市計画区域境界
	地域拠点		主要幹線道路		地域界・地区界
	地域拠点 (田園住宅型)		幹線道路	枠の凡例(方針)	
	集落拠点		航路		土地利用・市街地整備 (拠点形成)
	都市拠点 (運動拠点)		河川		観光ゾーン
	商業地・業務地		自然公園		レクリエーションゾーン
	工業地		主な公園		産業・流通ゾーン
	低層住宅地		主な山		都市施設整備 (交通体系整備)
	住宅地		主な施設・資源		都市防災・その他施設整備
	流通業務地		市役所		環境保全・環境形成・景観形成
	農地・集落地		総合支所・支所		
	山地・丘陵地				

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
中心
東部
西部
菊川
豊浦
豊田
豊北
第6章

2) その他施策

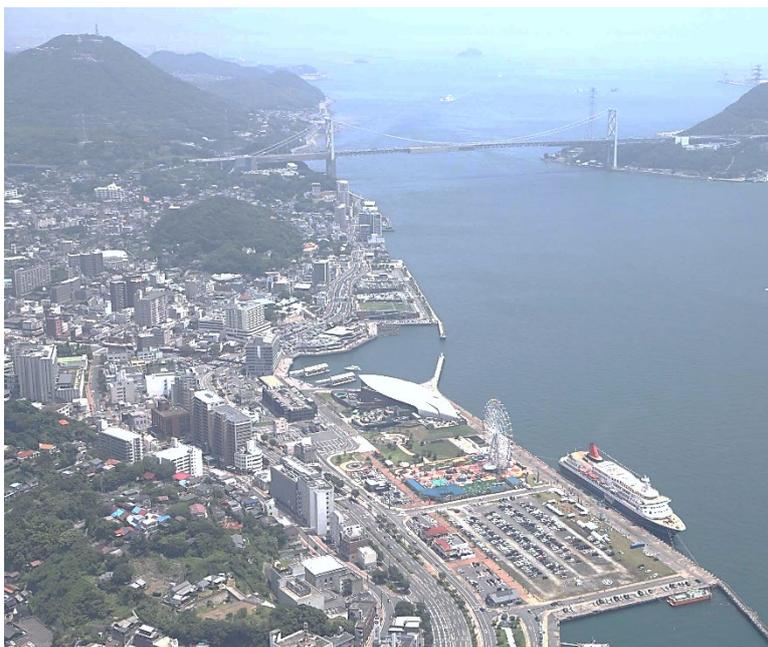
土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- 国道9号以北の関門海峡を臨む斜面密集市街地は、（都）三百日本町線の整備やその他生活道路、公共空地などの整備に努めるとともに、空き家の除却促進を図り、居住環境の改善と防災性の向上に努めます。また、より安全で安心な地域への居住誘導を図ります。
- 木造住宅が密集するエリアは、居住環境の改善と防災性の向上のため、生活道路などの整備に努めます。
- 山地や丘陵地の緑地の保全を図るとともに、地形的制約による市街化区域内未利用地の保全のあり方を検討します。
- 市街地の緑化空間の確保・誘導を図ります。
- 住工の混在を防止するため、土地利用の純化を進め、円滑な産業活動の維持・増進を図ります。
- 老朽建築物の適正な管理に努めるよう、周知を促します。
- 商店街などは、様々な都市機能の集積を図る場所として、市街地再開発事業や優良建築物等整備事業等を活用し、高度利用を進め、効率的な市街地整備を図るとともに、空き家・空きテナント等の活用を促進します。

【市街地形成】

- 主要幹線道路等の沿道は、道路等の都市基盤整備状況を考慮し、用途地域の見直しを検討するなど、都市機能の集積を図ります。
- 既存建築物の耐震化を促進するとともに、テナントビル等の更新を促進します。
- 唐戸地区周辺は、快適で生活利便性が高い市街地形成を図ります。
- 下関運動公園周辺は、教育・スポーツ施設の集積を活かした、個性と魅力のある市街地形成を図ります。
- 下関インターチェンジ周辺は、周辺環境や既存住宅地等との調和を図りながら、優れた交通立地条件にふさわしい計画的な土地利用の誘導を図ります。



▲市街地の状況



▲下関市役所



▲国際ターミナル

都市施設整備（交通体系整備等）

- J R 下関駅周辺から唐戸地区周辺は、市街地の回遊性を高めるため、道路の利便性向上と歩道の高質化を図ります。
- 官公庁施設や病院、公園等の公共公益に資する施設等やそれらを結ぶ経路は、バリアフリー化を図ります。
- 唐戸地区周辺のウォーターフロントは、観光施設と唐戸栈橋の立地を活かし、回遊性の向上を推進します。
- （都）竹崎・園田線の良好なまちなみ形成や、グリーンモールなどの商店街の回遊性の向上を図り、歩きまわることが楽しくなる都市環境の創出を図ります。
- 金比羅交差点周辺の渋滞対策の検討を推進するとともに、下関北九州道路の整備を見据え、接続道路などの整備のあり方の検討を推進します。

都市防災・その他施設整備

〔港湾・海岸〕

- 本港地区の港湾施設の再編・機能強化、六連丸係留施設の整備を図ります。

〔生活排水処理〕

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の維持・強化を図ります。

〔河川〕

- 浸水、たんすい 湛水などの被害の防止を図ります。

〔公園〕

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 土地利用に対応した景観形成を推進し、個性的で賑わいのある都市景観の創出を図ります。
- 海峡を縁取る水際の魅力を高め、海が身近に感じられる個性ある景観の創出を図ります。
- 日本遺産に認定された海峡の歴史を伝える歴史的資源の保全・活用を推進します。
- 関門海峡に佇む歴史的建築物などの観光資源の活用を図ります。
- テーマ性や連続性のある夜間景観の演出を図ります。
- あるかぼーとの水際において、良好な関門景観を活かした釣り文化振興を推進します。



▲ J R 下関駅



▲ あるかぼーと



▲ 火の山公園

(2) 山の田地区

1) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

地域拠点

- 北部公民館周辺は、地域拠点として、日常生活サービスの提供、都市活動の維持を図るとともに、商業・業務地の土地利用の更新を促進し、まちなか居住の誘導を図ります。
- 下関市立大学は、広域的に開かれた学びの拠点であり、その立地を活かした土地利用を推進します。

産業・流通ゾーン

- J R 幡生駅周辺は、交通施設の整備とマルチモーダルによる立地条件の向上や賑わいのある空間づくりを推進します。
- J R 幡生駅の操車場跡地の土地利用の促進を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 産業・物流活動に相応しい円滑な交通基盤の充実に図ります。
- 下関北九州道路に接続する広域連携軸として、下関西道路の整備を推進します。
- 国道191号下関北バイパスを主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- (一) 下関港安岡線、(一) 武久棕野線などを幹線道路として位置づけ、未整備区間の整備を図るなど、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実に図ります。

→関連路線：(都) 武久幡生本町線

公共交通

- 拠点間の連携強化を図るとともに、地域に相応しい公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- J R 幡生駅は、J R 西日本の駅舎のバリアフリー化にあわせて、武久側からのアクセス性の向上に努め、地域拠点に相応しい駅周辺整備などの検討を行うとともに、交通結節機能の充実に図ります。また、サイクルアンドライドやキスアンドライドなどによる利用促進に努めます。

都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 主要河川の防災機能の向上を図ります。
- 身近な公園の適切な維持管理・充実に図ります。

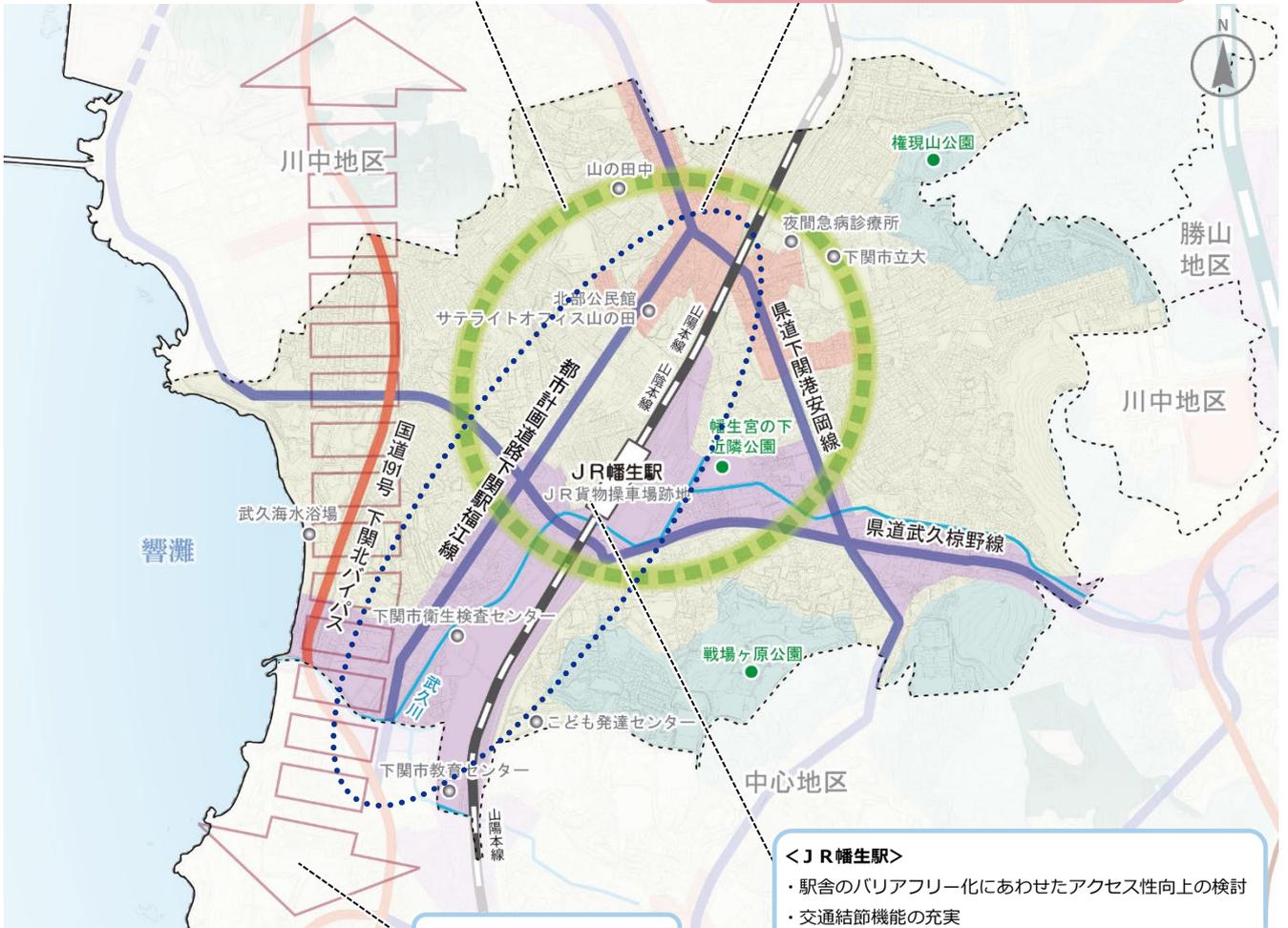
環境保全・環境形成・景観形成

- 権現山公園や戦場ヶ原公園などの良好な斜面緑地を保全し、緑や眺望性に配慮した市街地景観の形成を図ります。

●地域別構想図（市街地中心地域 山の田地区）

<地域拠点（北部公民館周辺）>
 ・日常生活のサービスの提供、都市活動の維持

<産業・流通ゾーン（J R 幡生駅周辺）>
 ・交通施設の整備とマルチモーダルによる立地条件向上
 ・賑わいのある空間づくりの推進



<広域連携軸>
 ・下関西道路の整備推進

<J R 幡生駅>
 ・駅舎のバリアフリー化にあわせたアクセス性向上の検討
 ・交通結節機能の充実
 ・サイクルアンドライドやキスアンドライドの利用促進

都市拠点	広域連携軸	都市計画区域界	
地域拠点	主要幹線道路	地域界・地区界	
地域拠点（田園住宅型）	幹線道路	枠の凡例（方針）	
集落拠点	航路	土地利用・市街地整備（拠点形成）	
都市拠点（運動拠点）	河川	観光ゾーン	
商業地・業務地	自然公園	レクリエーションゾーン	
工業地	主な公園	産業・流通ゾーン	
低層住宅地	主な山	都市施設整備（交通体系整備）	
住宅地	主な施設・資源	都市防災・その他施設整備	
流通業務地	市役所	環境保全・環境形成・景観形成	
農地・集落地	総合支所・支所		
山地・丘陵地			

- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 中心
- 東部
- 西部
- 菊川
- 豊浦
- 豊田
- 豊北
- 第6章

2) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- （都）下関駅福江線、（一）下関港安岡線、（一）武久棕野線沿道は、適切な沿道サービス・業務地形成の誘導を図ります。
- 山の田交差点周辺は、各用途に応じた都市機能を集積させ、誘導を図ります。
- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- 山地や丘陵地の緑地の保全を図るとともに、地形的制約による市街化区域内未利用地の保全のあり方を検討します。
- 市街地の緑化空間の確保・誘導を図ります。
- 住工の混在を防止するため、土地利用の純化を進め、円滑な産業活動の維持・増進を図ります。
- 様々な都市機能の集積を図る場所として、空き家・空きテナント等の活用を促進します。

【市街地形成】

- 主要幹線道路等の沿道は、道路等の都市基盤整備状況を考慮し、用途地域の見直しを検討するなど、都市機能の集積を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 官公庁施設や病院、公園等の公共公益に資する施設等やそれらを結ぶ経路は、バリアフリー化を図ります。
- （一）武久棕野線の良好なまちなみ形成や歩行者環境の改善を図ります。
- J R 西日本が実施する駅舎のバリアフリー化の促進を図ります。



▲ J R 幡生駅周辺



▲山の田交差点周辺



▲下関市立大学

都市防災・その他施設整備

[生活排水処理]

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の維持を図ります。

[河川]

- 浸水、^{たんすい} 湛水などの被害の防止を図ります。

[公園]

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 土地利用に対応した景観形成を推進し、個性的で賑わいのある都市景観の創出を図ります。
- 良好な自然海岸を保全するとともに、水際の魅力を高め、海が身近に感じられる個性ある景観の創出を図ります。



▲こども発達センター



▲（都）武久幡生本町線（建設中）



▲武久川



▲下関市教育センター



▲戦場ヶ原公園

(3) 彦島地区

1) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

地域拠点

- 彦島支所周辺は、地域拠点として、日常生活サービスの提供、都市活動の維持を図るとともに、商業・業務地の土地利用の更新を促進し、まちなか居住の誘導を図ります。

観光ゾーン

- 巖流島は、観光ゾーンとして、観光資源の保全と観光地に相応しい魅力づくりを推進します。
- 下関北九州道路の整備にあわせた新たな魅力づくりを推進します。

レクリエーションゾーン

- 老の山公園やひこつとらんどマリンビーチは、地域住民の身近なレクリエーションゾーンとして、施設の維持・充実、利用促進に努めます。

産業・流通ゾーン

- 西山・福浦地区工業地は、工場や食品製造業の集積を活かし、交通アクセスとマルチモーダルによる立地条件の向上や、環境面や防災上の改善を図り、工業地の維持と土地利用の誘導を図ります。
- 南風泊水産加工団地の良好な操業環境の維持を図ります。

都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 身近な公園の適切な維持管理・充実を図ります。
- 老朽化の進んだ南風泊市場の整備を図ります。
- 斜面市街地などの防災性・居住環境上の課題を抱える区域は、まちなか再生や防災性の向上などの施策を推進するとともに、土地利用のあり方を検討します。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 産業・物流活動に相応しい円滑な交通基盤の充実を図ります。
- 関門地域の連携による市域を越えた交流・産業の活性化に向け、彦島と北九州市を結ぶ下関北九州道路の整備促進を図ります。
- （一）福浦港金比羅線を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- （一）南風泊港線、（一）田ノ首下関線などを幹線道路として位置づけ、未整備区間の整備を図るなど、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図ります。
- 彦島地区からの物流の効率化及び地区の活性化を図ります。
→関連路線：（都）本村西山線

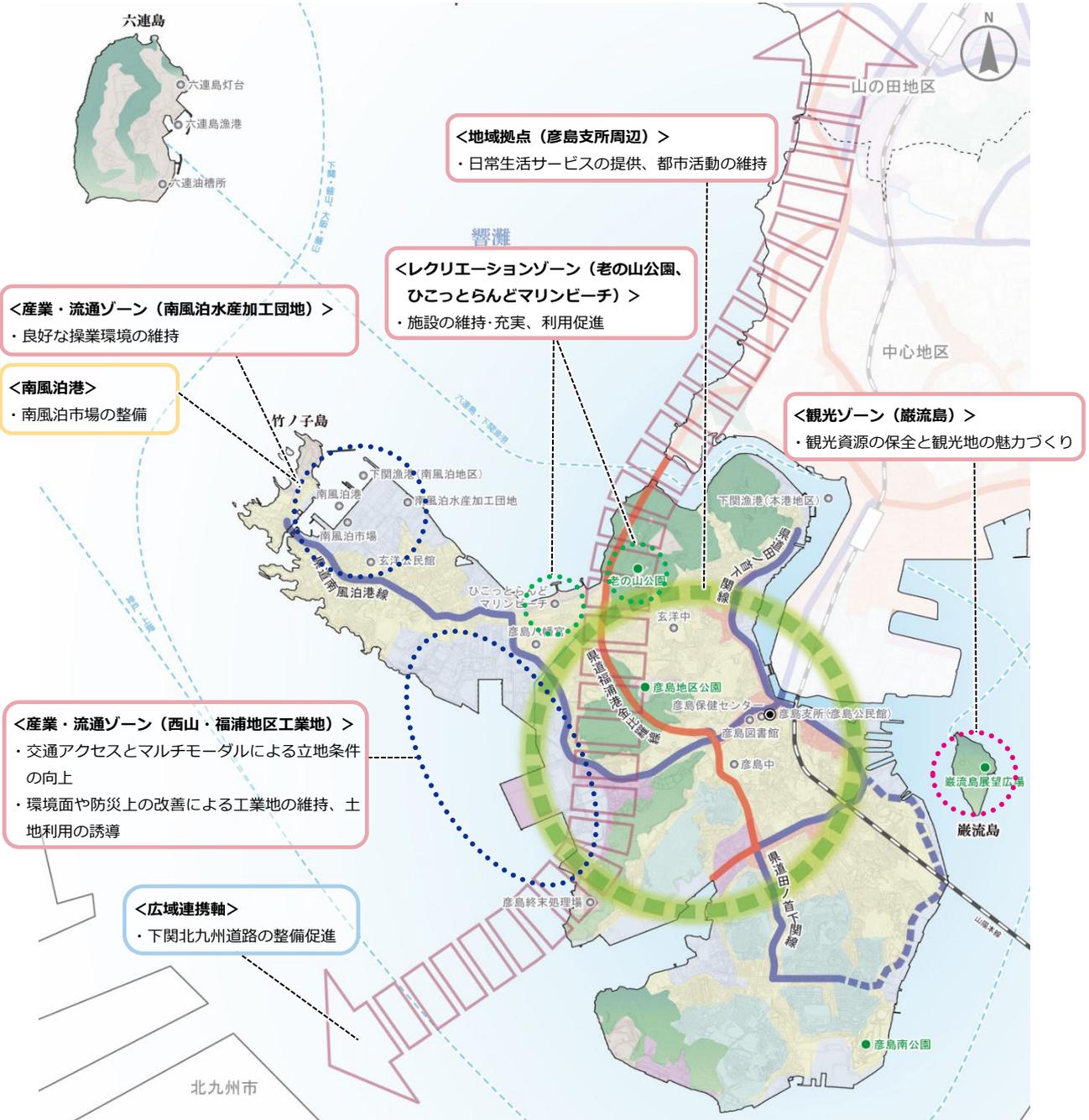
公共交通

- 拠点間の連携強化を図るとともに、地域に相応しい公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 瀬戸の特色ある自然環境・自然景観を保全し、水際の魅力が感じられる都市環境や景観の創出を図ります。
- 海峡を臨む景観形成及びその他周辺の良好なまちなみ景観の形成を図ります。

●地域別構想図（市街地中心地域 彦島地区）



都市拠点	広域連携軸	都市計画区域界
地域拠点	主要幹線道路	地域界・地区界
地域拠点（田園住宅型）	幹線道路	枠の凡例(方針)
集落拠点	航路	
都市拠点（運動拠点）	河川	レクリエーションゾーン
商業地・業務地	自然公園	産業・流通ゾーン
工業地	主な公園	都市施設整備（交通体系整備）
低層住宅地	主な山	都市防災・その他施設整備
住宅地	主な施設・資源	環境保全・環境形成・景観形成
流通業務地	市役所	
農地・集落地	総合支所・支所	
山地・丘陵地		

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

中心

東部

西部

菊川

豊浦

豊田

豊北

第6章

2) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- 斜面住宅地などは、生活道路などの整備に努めるとともに、空き家の除却促進を図り、居住環境の改善と防災性の向上に努めます。
- 木造住宅が密集するエリアは、居住環境の改善と防災性の向上のため、生活道路などの整備に努めます。
- 関門海峡に面する山地や丘陵地の緑地の保全を図るとともに、地形的制約による市街化区域内未利用地の保全のあり方を検討します。
- 交通立地条件を活かし、水産業や新しい分野の土地利用の誘導を図ります。また、下関北九州道路の整備に伴い、交通立地条件の更なる向上に努めます。
- 造船業をはじめとした工業などの土地利用の誘導を図ります。
- 工業立地の既存ストックの活用を図ります。
- 六連島は、基幹産業である農業及び漁業の振興を図るとともに、豊かな自然と地域資源を活かした地域の魅力の向上に努めます。

【市街地形成】

- 水産業や新しい分野の土地利用を促進し、交通立地条件を活かしながら、工業、流通業務、居住等の機能が調和した良好な市街地形成を図ります。
- 下関北九州道路の整備にあわせて、関連する道路整備・主要幹線道路等の沿道は、道路等の都市基盤整備状況を考慮し、用途地域の見直しを検討するなど、都市機能の集積を図ります。
- 彦島西山地区などの既成市街地内に残る未利用地は、土地利用の更新を進め、良好な市街地整備を図ります。



▲彦島市街地の状況



▲彦島支所（彦島公民館）



▲南風泊市場（完成イメージ）

都市施設整備（交通体系整備等）

- 彦島地区の産業活動の促進と地域住民の利便性を確保するため、新たな地域内道路ネットワークの整備を検討します。
- 下関北九州道路の整備を見据え、接続道路などの整備のあり方を検討します。

都市防災・その他施設整備

【港湾・海岸】

- 南風泊港の機能強化など、総合的な水産物流施設の整備促進を図ります。

【生活排水処理】

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の維持・強化を図ります。

【公園】

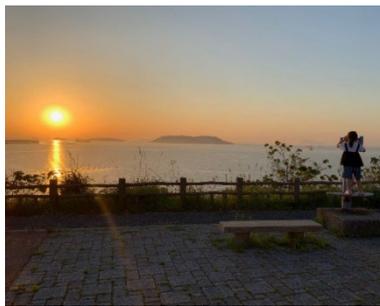
- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、地域住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 幹線道路などからの海への眺めを守るとともに、海との関わりのなかで、地域の魅力の向上を図ります。
- 海峡を縁取る水際の魅力を高め、海が身近に感じられる個性ある景観の創出を図ります。
- 巖流島の釣棧橋を利活用し、良好な関門景観を活かした釣り文化振興を推進します。



▲彦島大橋



▲彦島ナイスビューパーク



▲巖流島



▲ひこつとらんどマリンビーチ



▲老の山公園



▲六連島

(4) 勝山地区

1) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

都市拠点

- J R新下関駅周辺は、都市拠点として、日常生活サービスの提供、商業・業務等の複合機能を有する都市機能の集積を図るとともに、回遊性の向上とまちなか居住の誘導を図ります。
- 東亜大学周辺は、その立地を活かした土地利用を推進します。

観光ゾーン

- 住吉神社周辺や史跡勝山御殿跡周辺は、観光ゾーンとして、観光資源の保全と観光地の魅力づくりを推進します。

レクリエーションゾーン

- 砂子多川ほたる公園は、潤いある水辺空間の形成を推進します。

産業・流通ゾーン

- 新下関市場周辺は、流通業務機能や商業・業務等の複合機能を有する沿道サービス施設の集積を図ります。
- 下関インターチェンジ周辺は、物流並びに沿道サービス施設などの集積を図ります。

都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 主要河川の防災機能の向上を図ります。
- 身近な公園の適切な維持管理・充実を図ります。
- 新下関市場は、民間活力を利用し市場の活性化を推進します。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 都市拠点に相応しい交通基盤の充実を図ります。
- 安全で安心な歩いて暮らせる都市環境の創出を図ります。
- 国道2号、(主)下関長門線、(一)安岡港長府線、(都)長府綾羅木線を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- (主)下関美祢線を幹線道路として位置づけ、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図ります。
- 川中地区と長府地区を連絡し、地域の東西軸を形成する路線として、(都)長府綾羅木線の未整備区間の整備を推進します。

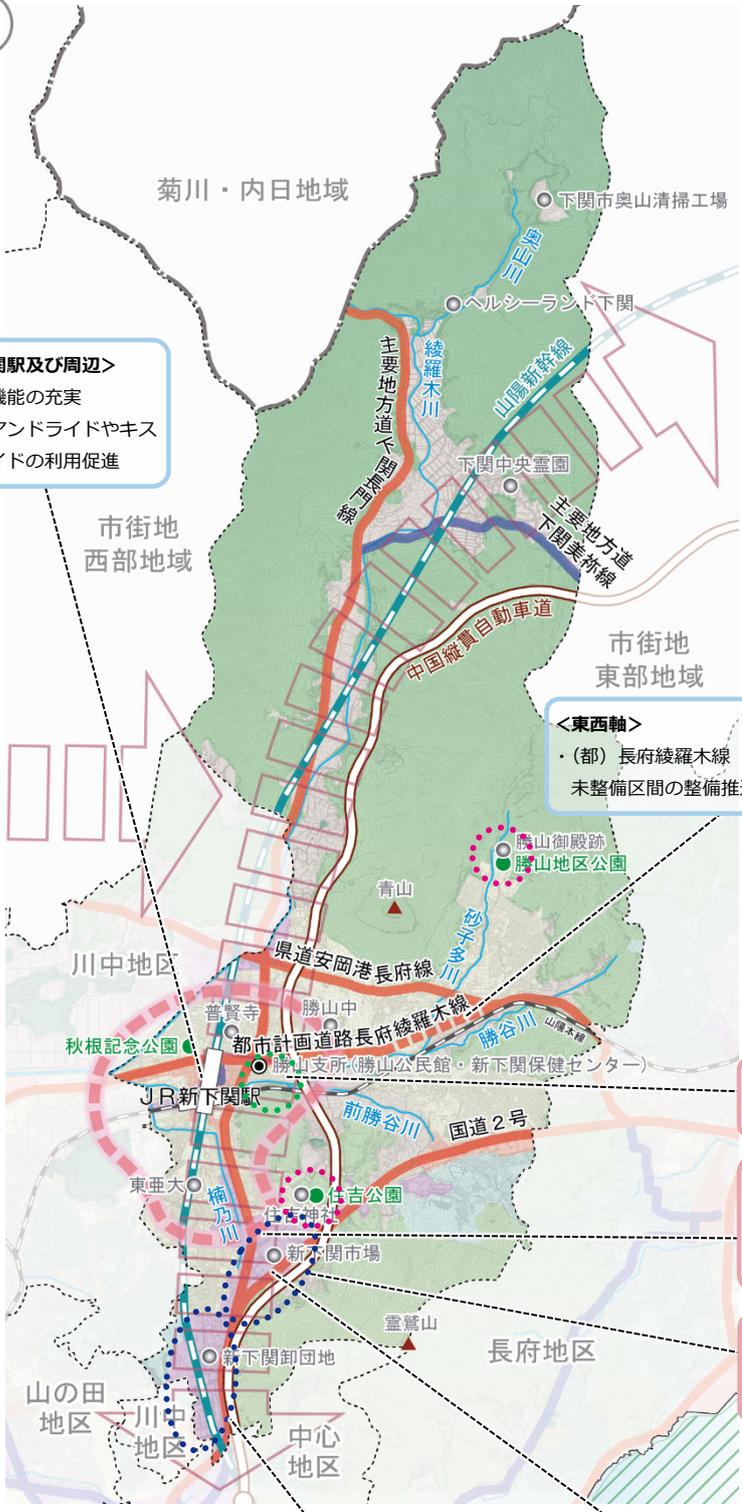
公共交通

- 広域交通の拠点として、公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- J R新下関駅は、公共交通の円滑な乗換えやサイクルアンドライド、キスアンドライドなどによる利用促進に努めるとともに、都市拠点に相応しい駅周辺整備と交通結節機能の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 市街地内の良好な緑地を保全し、緑に配慮した市街地景観の形成を図ります。
- 住吉神社周辺や史跡勝山御殿跡周辺の歴史的遺産の保全・活用を推進します。

●地域別構想図（市街地中心地域 勝山地区）



< JR新下関駅及び周辺 >
 ・交通結節機能の充実
 ・サイクルアンドライドやキスアンドライドの利用促進

< 東西軸 >
 ・(都)長府綾羅木線
 未整備区間の整備推進

	都市拠点
	地域拠点
	地域拠点 (田園住宅型)
	集落拠点
	都市拠点 (運動拠点)
	商業地・業務地
	工業地
	低層住宅地
	住宅地
	流通業務地
	農地・集落地
	山地・丘陵地
	広域連携軸
	主要幹線道路
	幹線道路
	航路
	河川
	自然公園
	主な公園
	主な山
	主な施設・資源
	市役所
	総合支所・支所
	都市計画区域境界
	地域界・地区界

	土地利用・市街地整備 (拠点形成)
	観光ゾーン
	レクリエーションゾーン
	産業・流通ゾーン
	都市施設整備 (交通体系整備)
	都市防災・その他施設整備
	環境保全・環境形成・景観形成

< レクリエーションゾーン (砂子多川ほたる公園) >
 ・潤いある水辺空間の形成

< 都市拠点 (JR新下関駅周辺) >
 ・日常生活サービスの提供
 ・商業・業務等の複合機能を有する都市機能の集積
 ・回遊性の向上とまちなか居住の誘導

< 産業・流通ゾーン (新下関市場周辺) >
 ・商業・業務等の複合機能を有する沿道サービス施設の集積

< 産業・流通ゾーン (下関インターチェンジ周辺) >
 ・物流、沿道サービス施設などの集積

< 新下関市場 >
 ・民間活力の利用

< 観光ゾーン (住吉神社周辺、勝山御殿跡周辺) >
 ・観光資源の保全と観光地の魅力づくり

2) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- (一) 安岡港長府線以北の農村集落は、集落環境の保全を図ります。
- 市街地の背景となる山地や丘陵地の緑地の保全を図るとともに、地形的制約による市街化区域内未利用地の保全のあり方を検討します。
- 綾羅木川周辺の優良農地などは、保全を図ります。

【市街地形成】

- (一) 安岡港長府線以北の山地に向けた市街地拡大を抑制するとともに、国道2号沿道などの市街化区域に囲まれたエリアの土地利用の検討を進め、良好な市街地形成を図ります。
- 主要幹線道路等の沿道は、道路等の都市基盤整備状況を考慮し、用途地域の見直しを検討するなど、都市機能の集積を図ります。
- 勝山中学校周辺などの既成市街地内に残る農地や未利用地の土地利用の更新を進め、良好な市街地整備を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 下関北九州道路に接続する広域連携軸として、下関西道路の整備を推進します。
- 渋滞を緩和し、安全な歩行者空間を確保するため、国道2号の渋滞対策や交通安全対策等の検討を推進するとともに、長府トンネルなどの課題の残る区間の対策等の検討を推進します。



▲勝山市街地の状況



▲JR新下関駅



▲都市計画道路長府綾羅木線

都市防災・その他施設整備

【生活排水処理】

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の維持を図るとともに、利用促進に努めます。

【河川】

- 綾羅木川や砂子多川は、河川環境の保全と活用を図るとともに、市街地内の水路等を活用した親水空間の確保を推進します。

【公園】

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、地域住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 都市拠点に相応しい商業・業務地の景観形成及び、その周辺の良い住宅地景観の形成を図ります。
- (一) 安岡港長府線以北は、(主) 下関長門線を軸とした豊かな自然景観と一体となった道路景観の形成を図ります。
- 青山などの山並みや田園集落などの景観と調和した景観形成を図ります。



▲勝山支所（勝山公民館）



▲東亜大学



▲新下関市場



▲砂子多川ほたる公園



▲青山



▲住吉神社

(5) 長府地区

1) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

地域拠点

- 長府支所周辺は、地域拠点として、日常生活サービスの提供、都市活動の維持を図るとともに、歴史・文化資源を活かした賑わい・回遊性の創出を図ります。

観光ゾーン

- 長府毛利邸や功山寺、長府庭園、下関市立美術館などの多くの歴史資源や文化施設を有する城下町長府エリア周辺は、観光ゾーンとして、観光資源の保全と観光地に相応しい魅力づくりを推進します。
- 城下町長府エリア周辺は、道路などの整備にあわせて、残地や遊休地をポケットパークや憩いの場として整備することを検討します。

産業・流通ゾーン

- 長府扇町工業団地などの臨海部の工業地は、大規模工場の集積を活かし、交通アクセスとマルチモーダルによる立地条件の向上や、環境面や防災上の改善を図り、工業地の維持と土地利用の誘導を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 産業・物流活動に相応しい円滑な交通基盤の充実に努めます。
- 国道2号、国道9号、国道491号、滑石交差点以北の（一）安岡港長府線を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を推進します。
- 滑石交差点以南の（一）安岡港長府線、（一）長府前田線を幹線道路として位置づけ、主要幹線道路との円滑な接続と、道路機能の充実に努めます。
- 渋滞を緩和し、安全な歩行者空間を確保するため、国道2号の渋滞対策や交通安全対策等の検討を推進するとともに、長府トンネルなどの課題の残る区間の対策等の検討を推進します。
- 国道9号の海岸保全とあわせて道路整備の推進を図ります。

公共交通

- 拠点間の連携強化を図るとともに、地域に相応しい公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- JR長府駅は、公共交通の円滑な乗換えやサイクルアンドライド、キスアンドライドなどによる利用促進に努めるとともに、交通結節機能の充実に努めます。

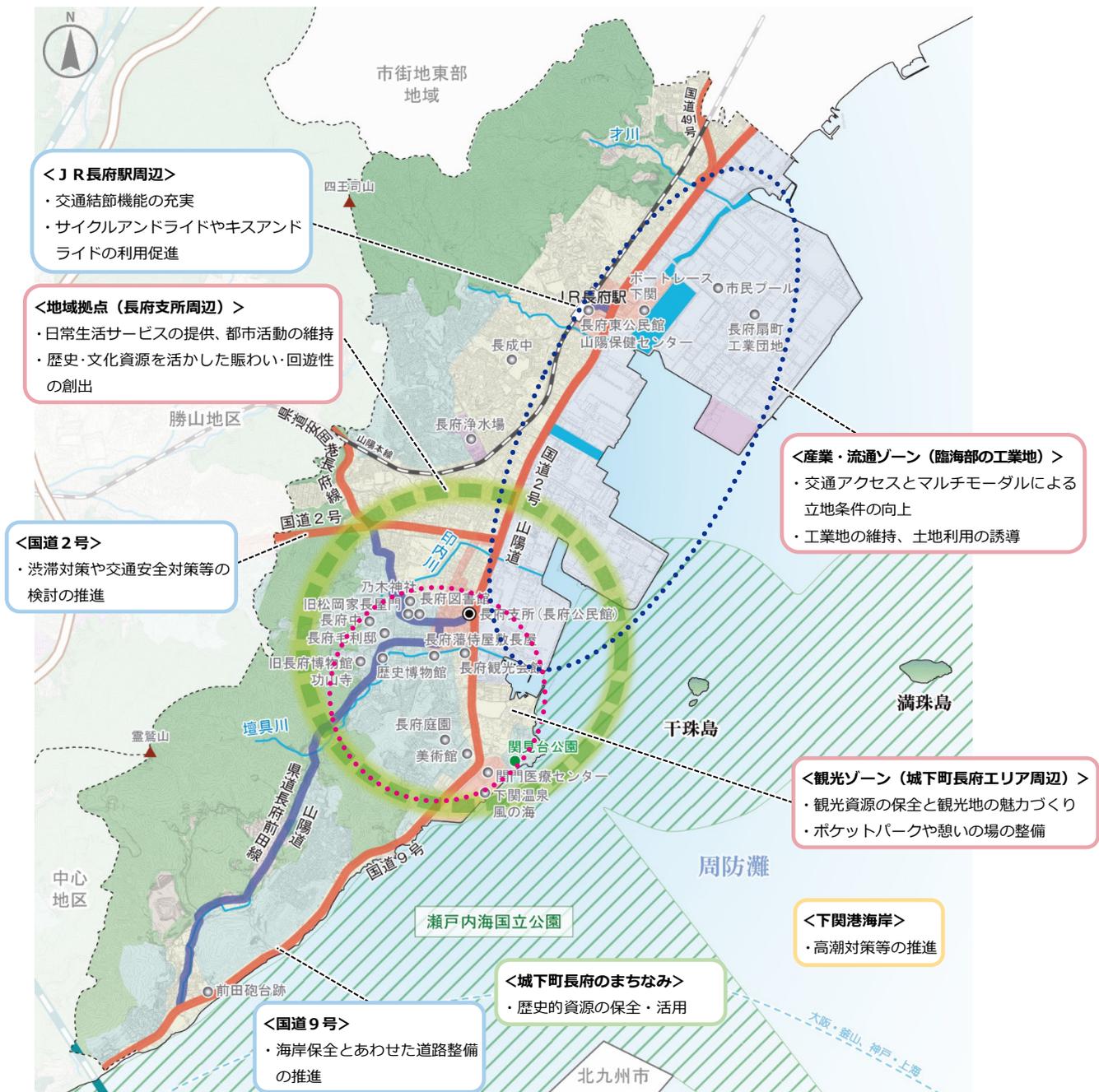
都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを実施します。
- 主要河川の防災機能の向上を図ります。
- 身近な公園の適切な維持管理・充実に努めます。
- 長府・壇ノ浦地区及び山陽地区は、国・県と連携して下関港海岸の高潮対策等の推進を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 市街地内の良好な緑地を保全し、緑や眺望性に配慮した市街地景観の形成を図ります。
- 城下町長府のまちなみや歴史的資源の保全・活用を推進するとともに、歴史性や風土性に配慮した市街地景観の形成を図ります。

●地域別構想図（市街地中心地域 長府地区）



<ul style="list-style-type: none"> 都市拠点 地域拠点 地域拠点（田園住宅型） 集落拠点 都市拠点（運動拠点） 商業地・業務地 工業地 低層住宅地 住宅地 流通業務地 農地・集落地 山地・丘陵地 	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携軸 主要幹線道路 幹線道路 航路 河川 自然公園 主な公園 主な山 主な施設・資源 市役所 総合支所・支所 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画区境界 地域界・地区界 <p>枠の凡例(方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地利用・市街地整備（拠点形成） 観光ゾーン レクリエーションゾーン 産業・流通ゾーン 都市施設整備（交通体系整備） 都市防災・その他施設整備 環境保全・環境形成・景観形成
--	---	--

- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 中心
- 東部
- 西部
- 菊川
- 豊浦
- 豊田
- 豊北
- 第6章

2) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- 長府商店街エリアは、城下町の佇まいや歴史的文化遺産など、歴史・文化を活かした観光商業機能の向上を図るとともに、市街地再開発事業等による土地の有効利用を検討します。
- 工業地は、環境保全、防災上の観点から緩衝緑地の確保の指導を図ります。
- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- 前田地区の斜面地住宅などは、生活道路などの整備に努めるとともに、空き家の除却促進を図り、居住環境の改善と防災性の向上に努めます。
- 市街地の背景となる山地や丘陵地の緑地の保全を図るとともに、地形的制約による市街化区域内未利用地の保全のあり方を検討します。

【市街地形成】

- 城下町長府エリア周辺は、歴史的文化遺産と地域生活が調和・共存する市街地形成を図ります。
- 主要幹線道路等の沿道は、道路等の都市基盤整備状況を考慮し、用途地域の見直しを検討するなど、都市機能集積を図ります。
- 国道2号印内交差点から長府トンネルにかけては、主要幹線道路としての機能強化を推進するとともに、適正な沿道の土地利用を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 商店街や城下町の観光ゾーン、臨海部などの回遊性を高め、歩車共存の交通環境の創出を図ります。



▲長府支所（長府公民館）



▲下関市立歴史博物館



▲国道9号



▲関門医療センター



▲JR長府駅



▲ポートレース下関

都市防災・その他施設整備

[港湾・海岸]

- 景観や自然環境に配慮した海岸保全施設の整備を図ります。

[生活排水処理]

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の維持を図るとともに、利用促進に努めます。

[河川]

- 壇具川は、河川環境の保全と活用を図るとともに、市街地内の水路等を活用した親水空間の確保を推進します。
- 浸水、たんすい 滲水などの被害の防止を図ります。

[公園]

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、地域住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 歴史的資源に囲まれながら練り歩く観光地として、風情をより感じられる環境整備の創出を図ります。
- 寺社仏閣の境内地の樹林をはじめとした、貴重な緑地の保全を図ります。
- 周防灘沿岸の穏やかな干潟風景や海岸部の自然環境の保全・活用を図ります。
- 史跡長州藩下関前田台場跡などの歴史的遺産と周辺景観の調和を図ります。
- 歴史的建造物等を活かした夜間景観の形成を図ります。
- 長府地区の緑地の保全を図るとともに、河川環境の保全に努めます。
- 山林の適切な管理を図り、四王司山系の山並みや田園景観の保全を図ります。



▲古江小路



▲長府扇町工業団地



▲壇具川



▲功山寺



▲長府庭園



▲関見台公園

(6) 川中地区

1) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

地域拠点

- J R 綾羅木駅周辺は地域拠点として、日常生活サービスの提供、都市活動の維持を図るとともに、商業・業務地の土地利用の更新を促進し、市街地の再整備を図ります。

産業・流通ゾーン

- 長州出島は、九州北部の国際拠点港湾の一翼を担う産業・流通ゾーンとして、物流施設及び関連産業用地の整備を図ります。
- (都) 長府綾羅木線沿いは、周辺環境や既存住宅地等との調和を図りながら、計画的な土地利用の誘導を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 産業・物流活動に相応しい円滑な交通基盤の充実に努めます。
- 下関北九州道路に接続する広域連携軸として、下関西道路の整備を推進します。
- 国道 191 号下関北バイパス、(一) 安岡港長府線、(一) 下関港安岡線以東の(都) 長府綾羅木線を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- (一) 下関港安岡線、国道 191 号下関北バイパス以西の(都) 幡生綾羅木線、(都) 棕野伊倉線などを幹線道路として位置づけ、未整備区間の整備を図るなど主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実に努めます。
- 市街地中心地域や市街地西部地域、豊浦地域との連携強化のため、(都) 幡生綾羅木線の延伸整備を図ります。

公共交通

- 拠点間の連携強化を図るとともに、地域に相応しい公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- J R 綾羅木駅、J R 梶栗郷台地駅は、サイクルアンドライドやキスアンドライドなどによる利用促進に努めます。

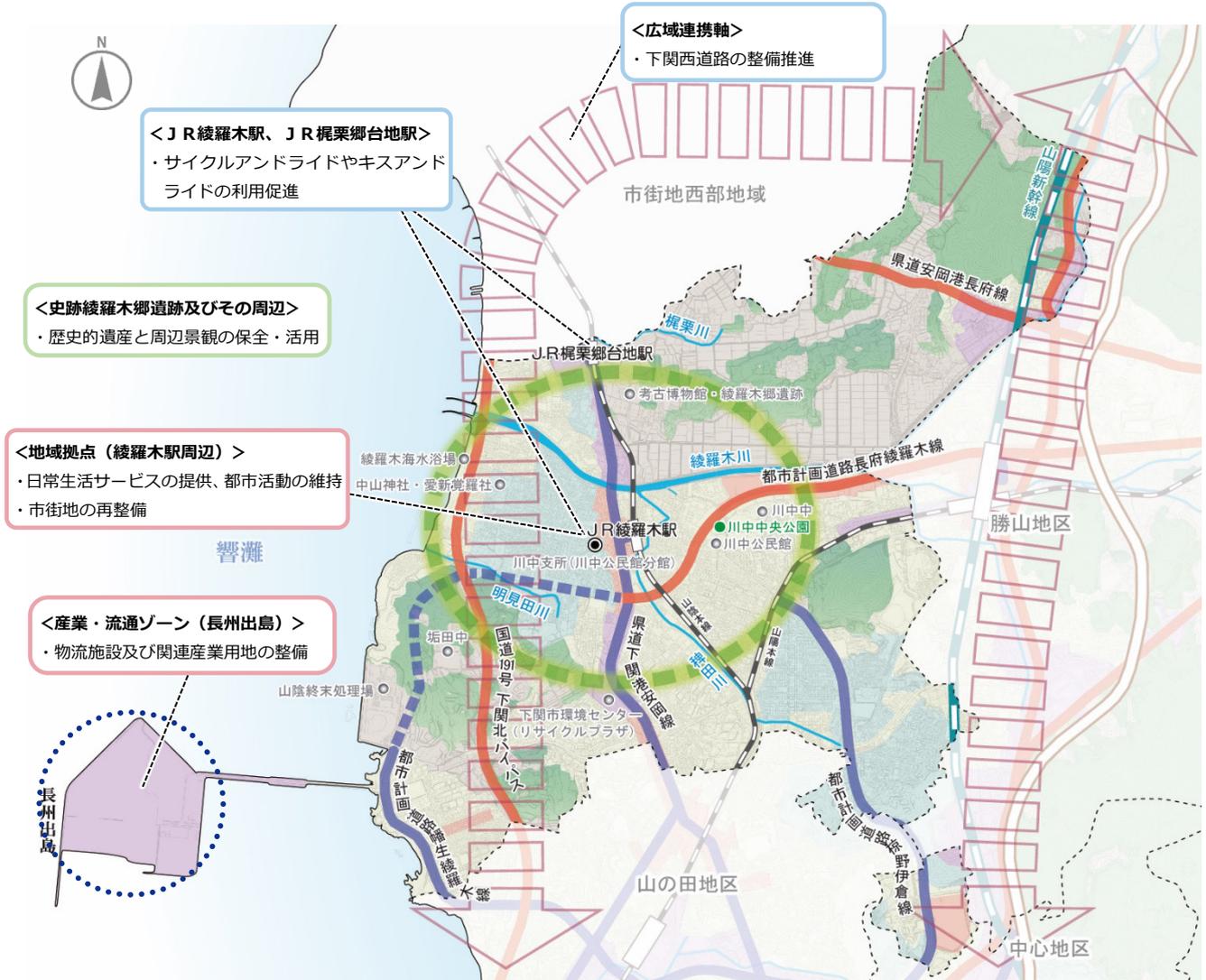
都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 主要河川の防災機能の向上を図るとともに、流域治水への転換など、土地利用の規制や誘導等に努めます。
- 身近な公園の適切な維持・充実に努めます。

環境保全・環境形成・景観形成

- 市街地内の良好な緑地や水辺空間を保全し、緑に配慮した市街地景観の形成を図ります。
- 史跡綾羅木郷遺跡の歴史的遺産と周辺景観の保全・活用を推進します。

●地域別構想図（市街地中心地域 川中地区）



都市拠点	広域連携軸	都市計画区境界
地域拠点	主要幹線道路	地域界・地区界
地域拠点（田園住宅型）	幹線道路	枠の凡例(方針)
集落拠点	航路	土地利用・市街地整備（拠点形成）
都市拠点（運動拠点）	河川	観光ゾーン
商業地・業務地	自然公園	レクリエーションゾーン
工業地	主な公園	産業・流通ゾーン
低層住宅地	主な山	都市施設整備（交通体系整備）
住宅地	主な施設・資源	都市防災・その他施設整備
流通業務地	市役所	環境保全・環境形成・景観形成
農地・集落地	総合支所・支所	
山地・丘陵地		

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

中心

東部

西部

菊川

豊浦

豊田

豊北

第6章

2) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

[土地利用]

- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- 木造住宅が密集するエリアは、居住環境の改善と防災性の向上のため、生活道路などの整備に努めます。
- 市街地の背景となる山地や丘陵地の保全を図るとともに、地形的制約による市街化区域内未利用地の保全のあり方を検討します。
- (一) 安岡港長府線と綾羅木川間の優良農地などの農地の保全を図ります。

[市街地形成]

- 効率的な都市構造を形成するため、(一) 安岡港長府線以北の山地に向けた市街地拡大を抑制するとともに、国道191号下関北バイパス沿道などの市街化区域に囲まれたエリアの土地利用の検討を進め、良好な市街地形成を図ります。
- 主要幹線道路等の沿道は、道路等の都市基盤整備状況を考慮し、用途地域の見直しを検討するなど、都市機能の集積を図ります。
- (都) 幡生綾羅木線沿道などの既成市街地内に残る農地や未利用地の土地利用の更新を進め、良好な市街地整備を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

- (都) 幡生綾羅木線の整備に伴う周辺的生活道路の整備を図ります。



▲川中公民館周辺（新下関西地区地区計画）



▲国道191号下関北バイパス



▲JR綾羅木駅

都市防災・その他施設整備

[港湾・海岸]

- 新港地区の港湾施設の機能強化を図ります。

[生活排水処理]

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の整備を図るとともに、利用促進に努めます。

[河川]

- 綾羅木川は、河川環境の保全と活用を図るとともに、市街地内の水路等を活用した親水空間の確保を推進します。
- 浸水、^{たんすい}湛水などの被害の防止を図ります。

[公園]

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、地域住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 中山神社周辺の風致の保全に努めるとともに、史跡綾羅木郷遺跡をはじめとした、指定史跡等の歴史的資源の保全・活用を図ります。
- 風致地区と調和した適切な沿道サービス・業務地区の景観形成を図ります。
- 歴史・文化資源と調和を図るため、良好な沿道景観や住宅地景観の形成を図ります。
- 長州出島は親水緑地の整備を推進します。



▲新棕野地区（地区計画）



▲長州出島



▲下関市環境センター(リサイクルプラザ)



▲中山神社



▲綾羅木川



▲考古博物館

5-3 市街地東部地域



(1) 地域づくりの基本的な考え方

交通利便性を活かした身近な自然と産業が 調和する、居住性に優れた都市づくり

【地域づくりの目標】

- ＜活力・交流＞ ● 交通利便性を活かした産業の立地促進を図り、職住環境の整った住みやすいまちづくりを推進します。
- ＜快適・自然＞ ● 川や海、山々に囲まれた身近な自然と共生する居住性に優れたまちづくりを推進します。
- ＜安全・安心＞ ● 河川沿いや河口周辺の広大な農地の保全を図り、浸水、^{たんすい}湛水などの被害を防止するため、河川整備と水災害リスクに備えた土地利用を推進します。

(2) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

地域拠点

- JR小月駅周辺は、地域拠点として、日常生活サービスの提供、都市活動の維持を図るとともに、商業・業務地の土地利用の更新を促進し、市街地の再整備を図ります。
- 営農環境と調和した良好な住環境の形成を図ります。

観光ゾーン

- 東行庵周辺は、観光ゾーンとして、観光資源の保全と観光地の魅力づくりを推進します。

レクリエーションゾーン

- 乃木浜総合公園や木屋川ラブリバーパークは、地域住民に身近なレクリエーションゾーンとして、施設の維持・充実、利用促進に努めます。

産業・流通ゾーン

- 木屋川工業団地や小月などの既存の大規模工業地は、アクセス性を強化し、産業活動の効率化や環境面、防災上の改善を図り、工業地の維持と土地利用の誘導を図ります。

都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 憩いやレクリエーション、健康づくりに資する乃木浜総合公園の多機能化を図ります。
- 主要河川の防災機能の向上を図るとともに、流域治水への転換など、土地利用の規制や誘導等に努めます。
- 山陽地区は国・県と連携して下関港海岸の高潮対策等の推進を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 産業・物流活動に相応しい円滑な交通基盤の充実に努めます。
- 広域連携軸である山陰道の依山・豊田道路の整備促進を図るとともに、山陰道の豊田～下関間の早期事業化を推進します。
- 国道2号、国道491号を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を推進するとともに、菊川地域から国道2号間の円滑なアクセス確保を推進します。

→関連路線：小月小島線

- (主) 豊浦清末線、(主) 下関美祢線、(一) 宇賀山陽線、豊関広域農道などを幹線道路として位置づけ、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実に努めます。

公共交通

- 拠点間の連携強化を図るとともに、地域に相応しい公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- JR小月駅は、地域拠点に相応しい駅周辺整備などの検討を行うとともに、交通結節機能の充実に努めます。また、キスアンドライド、サイクルアンドライドなどによる利用促進に努めます。

環境保全・環境形成・景観形成

- 市街地内の良好な緑地や海岸線を保全し、周辺の自然環境と調和した市街地景観の形成を図ります。
- 東行庵周辺は、歴史的景観の保全・活用を推進します。

●地域別構想図（市街地東部地域）

<広域連携軸>

- ・山陰道依山・豊田道路の整備促進
- ・山陰道豊田～下関間の早期事業化の推進

<産業・流通ゾーン（木屋川工業団地、小月など）>

- ・アクセス性の強化
- ・環境面・防災上の改善による工業地の維持
- ・土地利用の誘導

<観光ゾーン（東行庵周辺）>

- ・観光資源の保全と観光地の魅力づくり
- 菊川・内地地域

<J R小月駅>

- ・駅周辺整備などの検討
- ・交通結節機能の充実
- ・キスアンドライド、サイクルアンドライドの利用促進

<地域拠点（J R小月駅周辺）>

- ・日常生活サービスの提供、都市活動の維持
- ・市街地の再整備

<レクリエーションゾーン（乃木浜総合公園）>

- ・施設の維持・充実と利用促進

<下関港海岸>

- ・高潮対策等の推進



都市拠点	広域連携軸	都市計画区域界	
地域拠点	主要幹線道路	地域界・地区界	
地域拠点（田園住宅型）	幹線道路	枠の凡例（方針）	
集落拠点	航路	土地利用・市街地整備（拠点形成）	
都市拠点（運動拠点）	河川	観光ゾーン	
商業地・業務地	自然公園	レクリエーションゾーン	
工業地	主な公園	産業・流通ゾーン	
低層住宅地	主な山	都市施設整備（交通体系整備）	
住宅地	主な施設・資源	都市防災・その他施設整備	
流通業務地	市役所	環境保全・環境形成・景観形成	
農地・集落地	総合支所・支所		
山地・丘陵地			

- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 中心
- 東部
- 西部
- 菊川
- 豊浦
- 豊田
- 豊北
- 第6章

(3) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- 交通利便性を活かした産業の活性化を図るため、工業・流通関係の開発を促進するとともに、工業団地等の立地に適しているエリアは、周辺土地利用への影響に配慮し、土地利用の促進を図ります。
- 国道2号と国道491号の間の区域は、既存集落の保全を図ります。
- 木屋川、神田川沿いなどの営農環境に優れた農村集落は、集落環境の保全を図るとともに、道路などの保全を図ります。
- 浜田川、神田川、木屋川沿いの優良農地などは、農地の保全及び適切な維持管理を図ります。
- 田園景観の遠景を形成する山地は、保全を図ります。
- 住工混在エリアに立地する既存工場の住工分離の促進を図ります。

【市街地形成】

- 主要幹線道路等の沿道は、道路等の都市基盤整備状況を考慮し、用途地域の変更を進めるなど、都市機能の集積を図ります。
- J R小月駅南側の国道2号と国道491号を結ぶ下小月バイパスの整備を推進し、沿道利用を目的とした計画的な土地利用の検討を図ります。
- 住居、流通業務、工業、自然などが調和した良好な市街地の形成を図ります。
- 山地と既成市街地との間の住宅開発の抑制及び集落環境の保全を図ります。また、市街化調整区域内の土地利用の規制・誘導方策について検討します。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 王司支所周辺の（主）下関美祢線と国道2号を結ぶ生活道路の整備を図ります。



▲小月支所（小月公民館）



▲国道491号（王司周辺）



▲木屋川工業団地



▲小月インターチェンジ



▲J R小月駅



▲国道2号小月バイパス

都市防災・その他施設整備

[港湾・海岸]

- 景観や自然環境に配慮した海岸保全施設の維持管理の充実を図ります。

[生活排水処理]

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の整備を図るとともに、利用促進に努めます。

[河川]

- 木屋川、神田川などは、河川環境の保全と活用を図るとともに、市街地内の水路等を活用した親水空間の確保を推進します。
- 浸水、^{たんすい}湛水などの被害を防止するため、神田川、眞光川、浜田川、木屋川、中川の河川整備を図ります。
- 排水機場を維持・整備し、干拓農地の^{たんすい}湛水被害の防止を図ります。

[公園]

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、地域住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 周防灘沿岸の穏やかな干潟風景や海岸部の自然環境の保全・活用を図ります。
- 田園・集落景観と調和した主要幹線道路等沿道の商業施設・広告物等の景観誘導を図ります。
- 山林の適切な管理を図り、四王司山系の山なみや田園景観の保全を図ります。
- 歴史的景観に調和した住宅地景観の形成を図ります。



▲乃木浜総合公園（サッカー場）



▲海上自衛隊 小月航空基地周辺



▲木屋川ラブリバーパーク



▲小月啓作排水ポンプ場



▲神田川



▲東行庵

5-4 市街地西部地域



(1) 地域づくりの基本的な考え方

美しい響灘の海と緑豊かな自然、 地域の産業を活かした都市づくり

【地域づくりの目標】

- ＜活力・交流＞ ●水産研究機能の強化や、海水浴場、深坂自然の森、下関北運動公園などにおけるレクリエーションゾーンの形成など、恵まれた海と緑を活用したまちづくりを推進します。
- ＜快適・自然＞ ●市街地と山地の間をつなぎ、身近に自然とふれあえる地域として、豊かな自然環境を活かしたまちづくりを推進します。
- ＜安全・安心＞ ●河川環境の保全と活用を図り、浸水、^{たんすい}湛水などの被害を防止するため、河川整備と水災害リスクに備えた土地利用を推進します。

(2) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

地域拠点

- JR安岡駅周辺は、地域拠点として、日常生活サービスの提供、都市活動の維持を図るとともに、安岡地区複合施設（仮称）の整備を図り、市街地の再整備を図ります。
- 営農環境と調和した良好な住環境の形成を図ります。

レクリエーションゾーン

- 深坂自然の森や下関北運動公園、安岡海水浴場、安岡地区複合施設（仮称）などは、市民に身近なレクリエーションゾーンとして、施設の維持・充実、利用促進に努めます。
- 吉母管理場は、埋立て竣工後において、本州最西端の地毘沙ノ鼻を活かした海浜公園として整備し、レクリエーションゾーンの形成を図ります。

産業・流通ゾーン

- 水産大学校や栽培漁業センターは、産業ゾーンとして、水産に関する総合的な研究拠点の形成と産業振興を促進します。

都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 主要河川の防災機能の向上を図るとともに、流域治水への転換など、土地利用の規制や誘導等に努めます。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 産業・物流活動に相応しい円滑な交通基盤の充実に努めます。
- (一) 安岡港長府線や国道 191 号及び国道 191 号下関北バイパスを主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- (一) 下関川棚線、(一) 永田郷室津川棚線などを幹線道路として位置づけ、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実に努めます。
- 国道 191 号の通過交通を分散させるため、(一) 下関川棚線の道路機能の強化を推進します。

公共交通

- 拠点間の連携強化を図るとともに、地域に相応しい公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- JR安岡駅、JR福江駅、JR吉見駅は、キスアンドライド、サイクルアンドライドなどによる利用促進に努めます。

環境保全・環境形成・景観形成

- 市街地と自然との調和を図るため、良好な自然環境を保全します。
- 美しい海岸線や山並み、河川などの自然景観と田園集落との調和と保全を図ります。

●地域別構想図（市街地西部地域）



都市拠点	広域連携軸	都市計画区域界
地域拠点	主要幹線道路	地域界・地区界
地域拠点（田園住宅型）	幹線道路	枠の凡例（方針）
集落拠点	航路	土地利用・市街地整備（拠点形成）
都市拠点（運動拠点）	河川	観光ゾーン
商業地・業務地	自然公園	レクリエーションゾーン
工業地	主な公園	産業・流通ゾーン
低層住宅地	主な山	都市施設整備（交通体系整備）
住宅地	主な施設・資源	都市防災・その他施設整備
流通業務地	市役所	環境保全・環境形成・景観形成
農地・集落地	総合支所・支所	
山地・丘陵地		

- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 中心
- 東部
- 西部
- 菊川
- 豊浦
- 豊田
- 豊北
- 第6章

(3) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

〔土地利用〕

- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- 木造建築物が密集するエリアは、居住環境の改善と防災性の向上のため、道路などの整備に努めます。
- 点在する農村集落や蓋井島の漁村集落は、集落環境の保全を図るとともに、道路などの保全を図ります。
- (一) 安岡港長府線以北や西田川、永田川、草場川沿いの優良農地などは、農地の保全を図ります。
- 蓋井島は、基幹産業である漁業等の一次産業の振興を図るとともに、豊かな自然と地域資源を活かした産業の育成に努めます。
- 田園景観の遠景を形成する山地は、保全を図ります。

〔市街地形成〕

- 効率的な都市構造を形成するため、安岡地区において(一) 安岡港長府線以北の山地・丘陵地に向けた市街地拡大を抑制し、住居、地場産業、自然などが調和した良好な市街地形成を図ります。
- 済生会下関総合病院周辺などは、山地と既成市街地との間の住宅開発の抑制及び集落環境の保全を図ります。また、市街化調整区域内の土地利用の規制、誘導方策について検討します。
- 主要幹線道路等の沿道は、道路等の都市基盤整備状況を考慮し、用途地域の見直しを検討するなど、都市機能の集積を図ります。
- JR 安岡駅周辺や JR 吉見駅周辺は、民間活力による良好な市街地形成や賑わい創出を促進します。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 下関北九州道路に接続する広域連携軸として、下関西道路の整備を推進します。
- 国道 191 号の吉見から福江にかけての海岸線沿いの区間は、歩道の整備など線形不良区間の解消に向けて、取組みを推進します。



▲ 済生会下関総合病院



▲ 水産大学校



▲ 栽培漁業センター



▲ JR 安岡駅



▲ 国道 191 号（安岡駅周辺）



▲ 下関フィッシングパーク

都市防災・その他施設整備

[生活排水処理]

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の整備を図るとともに、利用促進に努めます。
- 漁村集落は、汚水処理施設を維持し、生活環境の向上と周辺海域の水質保全を図ります。

[河川]

- 友田川は、河川環境の保全と活用を図るとともに、市街地内の水路等を活用した親水空間の確保を推進します。
- 浸水、^{たんすい}湛水などの被害を防止するため、友田川、横野川、西田川、永田川、草場川の河川整備を図ります。

[公園]

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、地域住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 市民の憩いやふれあいの場としての「深坂自然の森」の景観の保全・活用を図ります。
- 竜王山系の裾野に広がる田園・集落景観の保全を図ります。
- 主要幹線道路からの海への眺望を守るとともに、海との関わりのなかで、地域の魅力を結ぶ軸として、豊かな交流創出への活用を図ります。
- 市指定天然記念物の吉母海岸植物群落を含め、北浦海岸や蓋井島の自然景観の保全と美化の促進を図ります。
- 田園・集落景観と調和した主要幹線道路等沿道の商業施設・広告物等の景観誘導を図ります。
- 深坂溜池などの土木遺産の保存と緑の拠点づくりを推進します。



▲ 下関北運動公園



▲ 深坂自然の森



▲ 吉母管理場



▲ 毘沙ノ鼻



▲ 蓋井島灯台

5-5 菊川・内日地域



(1) 地域づくりの基本的な考え方

豊かな自然や農業と共生する、 田園住宅都市づくり

【地域づくりの目標】

- <活力・交流>** ● 本地域背後の豊田県立自然公園や自然活用村、道の駅や菊川温泉など、様々な地域資源を活かし、多様な交流を育むまちづくりを推進します。
- <快適・自然>** ● 豊かな自然環境、良好な営農環境と調和した、快適でやすらぎのある居住環境の形成を図ります。
- <安全・安心>** ● 盆地の四方を取り囲む山地の保全を図るとともに、河川環境の保全と活用を図り、親水空間の確保を図ります。

(2) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

地域拠点（田園住宅型）

- 道の駅「きくがわ」から菊川総合支所周辺は、地域拠点（田園住宅型）として、観光ゾーン、レクリエーションゾーンとの連携を強化し、日常生活サービスの維持、都市活動の維持を図ります。
- 豊かな自然環境・営農環境との共生、生活利便性の維持・確保に向けて、土地利用の誘導を図ります。

観光ゾーン

- 道の駅「きくがわ」と菊川温泉は、観光ゾーンとして、観光資源の保全と観光地としての魅力づくりを推進します。

レクリエーションゾーン

- 菊川運動公園及び田部川沿いは、地域住民の憩いの空間となるレクリエーションゾーンとして、施設の維持・充実、利用促進に努めます。
- 自然活用村、歌野川ダム周辺は、地域住民の憩いの空間となるレクリエーションゾーンとして、周辺の自然環境の保全と利用促進に努めます。

産業・流通ゾーン

- 豊東工業団地は、産業ゾーンとして、産業活動に適した環境の維持と土地利用の誘導を図ります。

都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 主要河川の防災機能の向上を図るとともに、流域治水への転換など、土地利用の規制や誘導等に努めます。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 都市間や生活圏ネットワークの構築を図ります。
- 広域連携軸である山陰道の依山・豊田道路の整備促進を図るとともに、山陰道の豊田～下関間の早期事業化を推進し、インターチェンジを含めて接続道路のあり方を検討します。
- (主) 下関長門線、(一) 豊浦久野線、久野から榑崎にかけての(主) 豊浦菊川線、榑崎から田部にかけての国道 491 号を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- (主) 豊浦清末線、(一) 宇賀山陽線、豊関広域農道などを幹線道路として位置づけ、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図ります。

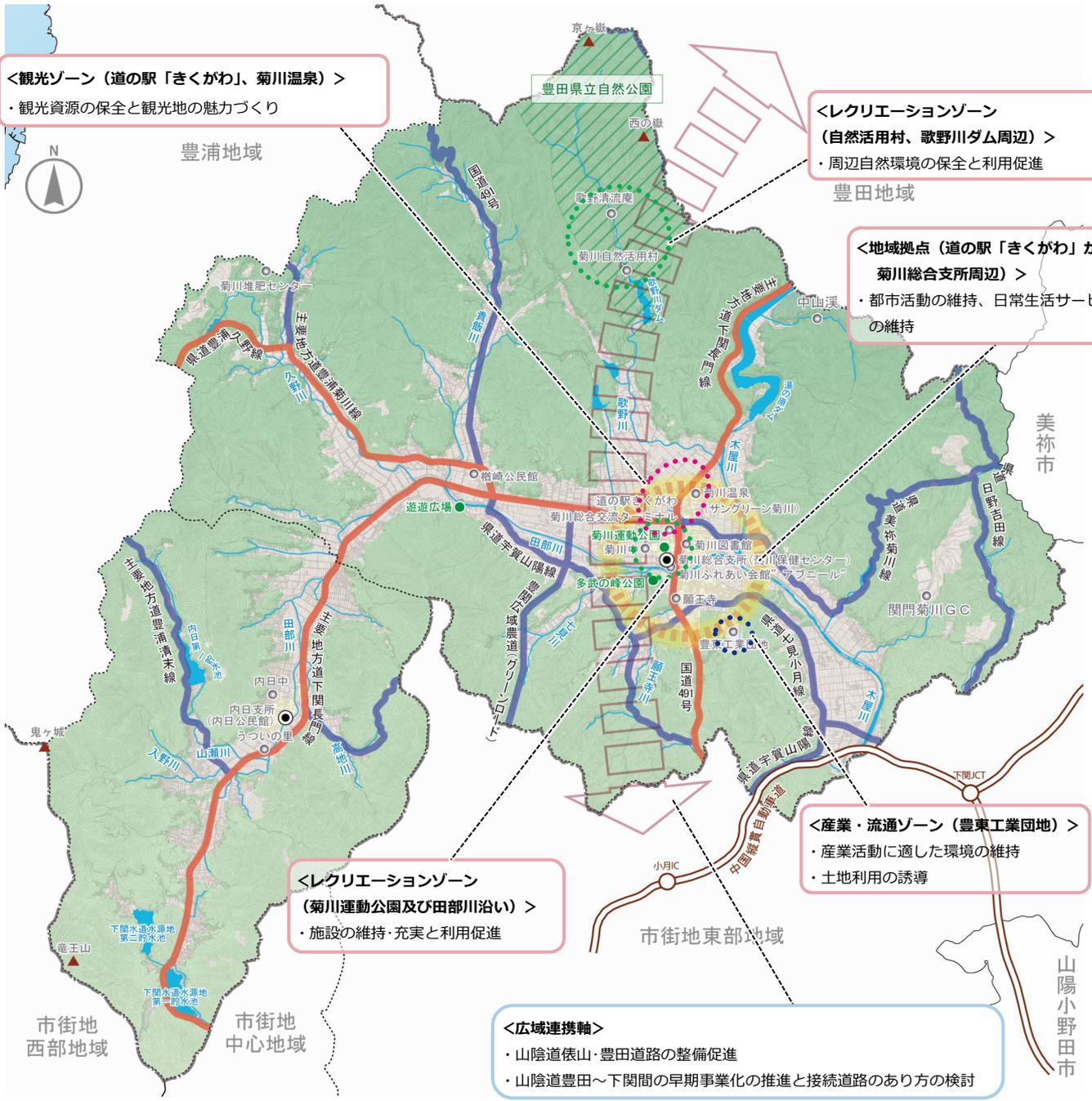
公共交通

- 広域の移動を担う路線バスの維持・確保のため、交通事業者等と連携を図り、地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築を促進します。
- 生活バスの地域特性や利用者の需要に応じたサービスの提供に努めます。

環境保全・環境形成・景観形成

- 田園・集落景観の保全を推進するとともに、原風景としての里山の保全・活用を図ります。

●地域別構想図（菊川・内日地域）



<ul style="list-style-type: none"> 都市拠点 地域拠点 地域拠点（田園住宅型） 集落拠点 都市拠点（運動拠点） 商業地・業務地 工業地 低層住宅地 住宅地 流通業務地 農地・集落地 山地・丘陵地 	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携軸 主要幹線道路 幹線道路 航路 河川 自然公園 主な公園 主な山 主な施設・資源 市役所 総合支所・支所 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画区域界 地域界・地区界 <p>枠の凡例（方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地利用・市街地整備（拠点形成） 観光ゾーン レクリエーションゾーン 産業・流通ゾーン 都市施設整備（交通体系整備） 都市防災・その他施設整備 環境保全・環境形成・景観形成
--	---	--

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

中心

東部

西部

菊川

豊浦

豊田

豊北

第6章

(3) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

[土地利用]

- 内日公民館周辺の田園集落の維持を図るとともに、土地利用の誘導と周辺環境の調和を図ります。
- 農村集落は、集落環境の保全を図るとともに、道路などの保全を図ります。
- 営農環境に優れた農村集落や農地は、保全を図ります。
- 田園景観の遠景を形成する山地は、保全を図ります。
- 国道 491 号等の幹線道路沿いは、周辺地域拠点等の形成と連携した土地利用の誘導を図ります。

[市街地形成]

- 国道 491 号沿線及び（主）下関長門線沿線の菊川温泉から（一）七見小月線沿線までのエリアは、集落と周辺環境との調和を図るため、建築物の用途を制限するなど適切な土地利用の誘導を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 観光発信基地として、道の駅「きくがわ」の機能充実を図ります。



▲菊川総合支所周辺



▲菊川総合支所



▲道の駅きくがわ



▲菊川ふれあい会館アブニール



▲豊東工業団地



▲内日周辺

都市防災・その他施設整備

[生活排水処理]

- 点在する農村集落は、污水处理施設を維持し、生活環境の向上と河川の水質保を図ります。

[河川]

- 歌野川や木屋川、田部川は、河川環境の保全と活用を図るとともに、親水空間の確保を推進します。
- 浸水、^{たんすい}湛水などの被害の防止を図ります。
- 入野川、高地川は、砂防施設などの整備に努めます。

[公園]

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、地域住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 田園・集落景観と調和した主要幹線道路等沿道の商業施設・広告物等の景観誘導を図ります。
- 観光に活かせる魅力ある景観形成を図ります。
- (主) 下関長門線などの主要幹線道路は、豊かな自然環境と一体となった道路景観の形成を図ります。
- 田園景観の遠景を構成する竜王山系の山なみの保全を図ります。
- 河川環境を保全し、河川景観を活かした交流空間の創出を図ります。
- 内日地区の広がりのある田園景観の保全と里山の保全・活用を図ります。
- 内日水源地などの土木遺産の保存と緑の拠点づくりを推進します。



▲下関水道内日水源地



▲湯の原ダム



▲田部川河川敷



▲菊川自然活用村



▲歌野清流庵



▲音無稻荷神社



(1) 地域づくりの基本的な考え方

観光交流・地域資源を活かした
魅力あふれる田園住宅都市づくり

【地域づくりの目標】

- <活力・交流> ●美しい景観を有する海岸線や市街地後背の山林、川棚温泉など豊富な地域資源を活かし、多様な交流を育むまちづくりを推進します。
- <快適・自然> ●田園住宅地に相応しい快適な居住環境の形成を図ります。
- <安全・安心> ●河川環境の保全と活用を図り、防災性の向上を図るための整備を推進します。

(2) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

地域拠点（田園住宅型）

- J R川棚温泉駅周辺は、地域拠点（田園住宅型）として、観光ゾーン、レクリエーションゾーン、産業・流通ゾーンとの連携を強化し、日常生活サービスの維持、都市活動の維持を図ります。
- 川棚温泉などの地域資源を活用した特色ある拠点形成を図ります。

観光ゾーン

- 川棚温泉周辺や川棚のクスの森、リフレッシュパーク豊浦は、観光ゾーンとして、沿道のまちなみ形成や歩道の舗装整備など、観光資源の保全と観光地としての魅力づくりを推進します。

レクリエーションゾーン

- リフレッシュパーク豊浦や国見台森林公園、夢ヶ丘公園、鳴き砂ビーチうしろはま周辺等は、市民の憩いの空間となるレクリエーションゾーンとして、施設の維持・充実、利用促進に努めます。

産業・流通ゾーン

- 塩田地区工業地は、アクセス性を強化し、環境面、防災上の改善を図り、工業地の維持と土地利用の誘導など、産業活動に適した環境形成を図ります。

都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 主要河川の防災機能の向上を図るとともに、流域治水への転換など、土地利用の規制や誘導等に努めます。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 都市間や生活圏ネットワークの構築を図ります。
- 国道 191 号、(一) 豊浦久野線を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- (主) 豊浦清末線、(一) 豊浦菊川線、(一) 豊浦豊田線、(一) 永田郷室津川棚線、(一) 宇賀山陽線、(一) 下関川棚線などを幹線道路として位置づけ、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図ります。

公共交通

- 路線バスの維持・確保のため、交通事業者等と連携を図り、持続可能な交通体系の構築を促進します。
- J R川棚温泉駅、J R小串駅、J R黒井村駅、J R梅ヶ峠駅及びJ R湯玉駅は、キスアンドライドやサイクルアンドライドなどによる利用促進に努めます。

環境保全・環境形成・景観形成

- 自然と歴史を活かした湯町地区の情緒豊かな温泉地景観の形成を図ります。

●地域別構想図（豊浦地域）



<JR川棚温泉駅、JR小串駅、JR黒井村駅、JR梅ヶ峠駅、JR湯玉駅>
・キスアンドライドやサイクルアンドライドの利用促進

<産業・流通ゾーン（塩田地区工業地）>
・アクセス性の強化
・環境面、防災上の改善による工業地の維持
・土地利用の誘導

<地域拠点（JR川棚温泉駅周辺）>
・都市活動の維持、日常生活サービスの維持

<レクリエーションゾーン（リフレッシュパーク豊浦、国見台森林公園、夢ヶ丘公園、鳴き砂ピーチうしろはま周辺等）>
・施設の維持・充実と利用促進

<観光ゾーン（川棚温泉周辺、川棚のクスの森、リフレッシュパーク豊浦）>
・観光資源の保全と観光地の魅力づくり

	都市拠点		広域連携軸		都市計画区域界
	地域拠点		主要幹線道路		地域界・地区界
	地域拠点（田園住宅型）		幹線道路		
	集落拠点		航路		
	都市拠点（運動拠点）		河川		
	商業地・業務地		自然公園		
	工業地		主な公園		
	低層住宅地		主な山		
	住宅地		主な施設・資源		
	流通業務地		市役所		
	農地・集落地		総合支所・支所		
	山地・丘陵地				

	土地利用・市街地整備（拠点形成）
	観光ゾーン
	レクリエーションゾーン
	産業・流通ゾーン
	都市施設整備（交通体系整備）
	都市防災・その他施設整備
	環境保全・環境形成・景観形成

(3) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- 良好な居住環境の形成を図るため、民間活力等による土地区画整理事業や地区計画等を活用し、市街地整備、道路や下水道などの都市基盤整備の充実に努めます。
- 木造建築物が密集するエリアは、居住環境の改善と防災性の向上のため、道路などの整備に努めます。
- 営農環境に優れた農村集落や農地は、保全を図ります。
- 田園景観の遠景を形成する山地は、保全を図ります。

【市街地形成】

- 国道 191 号沿道の用途白地地域は、周辺環境との調和を図るため、建築物の用途を制限するなど、適切な土地利用の誘導を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 交通量の多い国道 191 号の通学路等の歩道整備を推進します。



▲豊浦総合支所（豊浦図書館）



▲川棚温泉



▲川棚温泉交流センター



▲川棚の風景



▲J R川棚温泉駅周辺



▲国道191号（福德稻荷神社周辺）

都市防災・その他施設整備

【生活排水処理】

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の維持を図るとともに、利用促進に努めます。
- 点在する農村集落は、污水处理施設を維持し、生活環境の向上と河川の水質保全を図ります。

【河川】

- 川棚川は、河川環境の保全と活用を図るとともに、親水空間の確保を推進します。

【公園】

- 地域住民の日常的な憩いの空間として、公園施設の充実や整備を図るとともに、地域住民との協働による公園管理の充実を図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- 自然と歴史に育まれた観光資源の良好な景観の保全・活用に努めます。
- 田園・集落景観と調和した主要幹線道路等沿道の商業施設・広告物等の景観誘導を図ります。
- 観光に活かせる魅力ある景観形成を図ります。
- 国道191号などの主要幹線道路は、豊かな自然環境と一体となった道路景観の形成を図ります。



▲リフレッシュパーク豊浦



▲夢ヶ丘公園



▲済生会豊浦病院



▲川棚川



▲福德稻荷神社



▲川棚のクスの森



(1) 地域づくりの基本的な考え方

美しい水辺と豊かな緑と共生する、
やすらぎと潤いのある観光交流地域づくり

【地域づくりの目標】

- <活力・交流> ●ホテルをテーマにした地域振興を活かすべく、自然と共生した地域の魅力づくりを推進します。
- <快適・自然> ●自然環境の積極的な保全を図り、生活にやすらぎと潤いを感じられる地域を推進します。
- <安全・安心> ●河川環境の保全と活用を図り、親水空間の確保を図るとともに、自然災害時の輸送路などの確保を図ります。

(2) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

集落拠点

- 豊田総合支所周辺は、集落拠点として、観光ゾーン、レクリエーションゾーンとの連携を強化し、身近な地域活動を支援するまちの機能の維持と日常生活サービスの維持を図ります。
- 集落コミュニティ機能の維持・保全に努めます。

観光ゾーン

- 豊田湖周辺や木屋川のゲンジボタルの生息地、木屋川で運航するホテル舟など、自然資源を観光産業に活かした取り組みを推進します。
- 道の駅「螢街道西ノ市」周辺や一の俣温泉、豊田湖周辺、徳仙の滝周辺は、観光ゾーンとして、アクセス性の確保など、観光利用の促進に向けた取り組みを図り、観光資源の保全と魅力づくりを推進します。

レクリエーションゾーン

- 豊田湖畔公園、豊田農業公園、長正司公園は、地域住民の憩いの空間となるレクリエーションゾーンとして、施設の維持・充実、利用促進に努めます。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 都市間や生活圏ネットワークの構築を図ります。
- 広域連携軸である山陰道の依山・豊田道路の整備促進を図るとともに、山陰道の豊田～下関間の早期事業化を推進します。
- 国道 435 号、(主) 下関長門線を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- 国道 491 号、(主) 山陽豊田線、豊閑広域農道などを幹線道路として位置づけ、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図ります。

公共交通

- 広域の移動を担う路線バスの維持・確保のため、交通事業者等と連携を図り、地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築を促進します。
- 生活バスの地域特性や利用者の需要に応じたサービスの提供に努めます。

都市防災・その他施設整備

- 木屋川ダムの嵩上げ事業による、木屋川水系の総合的な治水対策を推進するとともに、流域治水への転換など、土地利用の規制や誘導等に努めます。
- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。

環境保全・環境形成・景観形成

- ホテルの生息する貴重な河川環境を保全し、河川景観を活かした親水空間の創出を図ります。

●地域別構想図（豊田地域）



都市拠点	広域連携軸	都市計画区域界
地域拠点	主要幹線道路	地域界・地区界
地域拠点（田園住宅型）	幹線道路	枠の凡例(方針)
集落拠点	航路	土地利用・市街地整備（拠点形成）
都市拠点（運動拠点）	河川	観光ゾーン
商業地・業務地	自然公園	レクリエーションゾーン
工業地	主な公園	産業・流通ゾーン
低層住宅地	主な山	都市施設整備（交通体系整備）
住宅地	主な施設・資源	都市防災・その他施設整備
流通業務地	市役所	環境保全・環境形成・景観形成
農地・集落地	総合支所・支所	
山地・丘陵地		

- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 中心
- 東部
- 西部
- 菊川
- 豊浦
- 豊田
- 豊北
- 第6章

(3) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- 集落拠点を含む豊田総合支所周辺の住宅地は、自然に囲まれた良質な住宅地の形成に努めます。
- 営農環境に優れた農村集落や農地は、保全を図ります。
- 生活空間の背景となる山地は、保全を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 観光発信基地として、道の駅「蛸街道西ノ市」の機能充実を図ります。
- 梨狩りなどの農業観光と連動した道路の維持・保全に努めます。



▲豊田総合支所周辺



▲豊田総合支所



▲長門ポッポ（道の駅蛸街道西ノ市）



▲豊田総合支所周辺



▲豊田ホテルの里ミュージアム



▲一の俣温泉

都市防災・その他施設整備

[生活排水処理]

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の維持を図ります。
- 点在する農村集落は、污水处理施設を維持し、生活環境の向上と河川の水質保全を図ります。

[河川]

- 木屋川や粟野川は、河川環境の保全と活用を図るとともに、親水空間の確保を推進します。
- 木屋川ダムの治水対策と豊田湖の観光資源としての両立を図るように努めます。

環境保全・環境形成・景観形成

- 豊田県立自然公園の豊田湖周辺、狗留孫山、華山をはじめとする山地や集落周辺の身近な里山は、適切な保全を図ります。
- 美しい湖畔や山なみ、良好な田園・集落景観など、地域固有の景観と調和した景観形成を図ります。
- 豊かな自然環境や景観を保全するとともに、交流拠点としての景観形成を図ります。
- 自然と溶け合った豊田湖の豊かな水辺景観や、国天然記念物「木屋川・音信川ゲンジボタル発生地」を含めホタルの生息する貴重な河川環境の保全・活用を図ります。
- 田園・集落景観と調和した主要幹線道路等沿道の商業施設・広告物等の景観誘導を図ります。
- 観光に活かせる魅力ある景観形成を図ります。
- みのりの丘を中心とした自然の恵みを活かした産業の推進に努めます。
- 豊田総合支所周辺は、石州瓦の統一感ある集落景観の保全に努めます。



▲豊田湖



▲豊田農業公園みのりの丘



▲木屋川ダム



▲山陰道俵山・豊田道路（建設中）



▲木屋川（ホタル舟）



▲華山



(1) 地域づくりの基本的な考え方

美しい海岸線と豊かな緑に包まれた、
自然と歴史の観光交流地域づくり

【地域づくりの目標】

- <活力・交流> ● 広域観光地として交通機能の充実と連携強化を図り、これらを地域振興に活かすべく自然と歴史の共生した地域の魅力づくりを推進します。
- <快適・自然> ● 緑豊かな山々や美しい海岸の景観を保全し、自然環境と集落が調和したやすらぎのある地域を推進します。
- <安全・安心> ● 海岸線と河川環境の保全と活用を図るとともに、自然災害時の輸送路などの確保を図ります。

(2) 主要施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

集落拠点

- 豊北総合支所周辺は、集落拠点として、観光ゾーン、レクリエーションゾーンとの連携を強化し、身近な地域活動を支援するまちの機能の維持と日常生活サービスの維持を図ります。
- 集落コミュニティ機能の維持・保全に努めます。

観光ゾーン

- 角島、角島大橋、土井ヶ浜海水浴場周辺から島戸海水浴場にかけてのエリア及び粟野川は、観光ゾーンとして、拠点とのアクセス性と回遊性の向上を図り、観光資源の保全と魅力づくりを推進します。
- 角島、角島大橋及び道の駅「北浦街道豊北」などは、休憩施設、展望場所、駐車場等の整備、案内表示の充実を図ります。

レクリエーションゾーン

- 大浦岳森林公園や豊北総合運動公園、粟野川河川公園、阿川ほうせんぐり海浜公園は、地域住民の憩いの空間となるレクリエーションゾーンとして、施設の維持・充実、利用促進に努めます。

都市防災・その他施設整備

- 災害に強い道路整備、緊急物資輸送路の確保などを図ります。
- 主要河川の防災機能の向上を図るとともに、流域治水への転換など、土地利用の規制や誘導等に努めます。

都市施設整備（交通体系整備等）

道路

- 都市間や生活圈ネットワークの構築を図ります。
- 国道 191 号、(主) 粟野二見線及び田耕から滝部にかけての国道 435 号を主要幹線道路として位置づけ、交通処理機能の強化を図ります。
- 滝部から神田にかけての国道 435 号、(一) 島戸港線、(一) 角島神田線、豊関広域農道などを幹線道路として位置づけ、主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図ります。

公共交通

- 広域の移動を担う路線バスの維持・確保のため、交通事業者等と連携を図り、地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築を促進します。
- 生活バスの地域特性や利用者の需要に応じたサービスの提供に努めます。
- JR 滝部駅は、キスアンドライドやサイクルアンドライドなどによる利用促進に努めます。

環境保全・環境形成・景観形成

- 美しい海岸線や山なみなどの自然景観の調和を図り、良好な景観形成を図ります。

●地域別構想図（豊北地域）

＜観光ゾーン（角島・角島大橋、道の駅「北浦街道豊北」、土井ヶ浜海水浴場周辺～島戸海水浴場、粟野川）＞

- ・アクセス性、回遊性の向上
- ・観光資源の保全と魅力づくり
- ・休憩施設、展望場所、駐車場等の整備
- ・案内表示の充実

＜レクリエーションゾーン（大浦岳森林公園、豊北総合運動公園、粟野川河川公園、阿川ほうせんぐり海浜公園）＞

- ・施設の維持・充実と利用促進



＜JR滝部駅＞
・キスアンドライドやサイクリングアンドライドの利用促進

＜集落拠点（豊北総合支所周辺）＞
・まちの機能の維持
・日常生活サービスの維持

	都市拠点		広域連携軸		都市計画区境界
	地域拠点		主要幹線道路		地域界・地区界
	地域拠点（田園住宅型）		幹線道路	枠の凡例(方針)	
	集落拠点		航路		土地利用・市街地整備（拠点形成）
	都市拠点（運動拠点）		河川		観光ゾーン
	商業地・業務地		自然公園		レクリエーションゾーン
	工業地		主な公園		産業・流通ゾーン
	低層住宅地		主な山		都市施設整備（交通体系整備）
	住宅地		主な施設・資源		都市防災・その他施設整備
	流通業務地		市役所		環境保全・環境形成・景観形成
	農地・集落地		総合支所・支所		
	山地・丘陵地				

(3) その他施策

土地利用・市街地整備（拠点形成）

【土地利用】

- 集落拠点を含む豊北総合支所周辺の住宅地は、自然に囲まれた良質な住宅地の形成に努めます。
- 営農環境に優れた農村集落や農地は、保全を図ります。
- 生活空間の背景となる山地は、保全を図ります。

都市施設整備（交通体系整備等）

- 観光発信基地として、道の駅「北浦街道豊北」の機能の充実を図ります。



▲角島大橋



▲豊北総合支所



▲豊北総合支所周辺



▲JR滝部駅



▲JR阿川駅



▲ほうせんぐり海浜公園

都市防災・その他施設整備

[生活排水処理]

- 衛生的で快適な居住環境を実現するため、公共下水道の維持を図ります。
- 点在する農村集落は、污水处理施設を維持し、生活環境の向上と河川等の水質保全を図ります。

[河川]

- 粟野川などは、河川環境の保全と活用を図るとともに、親水空間の確保を推進します。

環境保全・環境形成・景観形成

- 豊田県立自然公園の狗留孫山をはじめとする山地や集落周辺の身近な里山は、適切な保全を図ります。
- 国道 191 号などの主要幹線道路は、豊かな自然環境と一体となった道路景観の形成を図ります。
- 観光に活かせる魅力ある景観形成を図ります。
- 主要幹線道路等からの海への眺望を守るとともに、海との関わりのなかで、地域の魅力を結ぶ軸として豊かな交流創出への活用を図ります。
- 周辺の自然環境も含めた土井ヶ浜遺跡を保全するとともに、歴史的交流拠点としての活用を図ります。
- 角島・角島大橋周遊ルートの充実に向け、道路整備の充実と海への景観を保全します。



▲ 粟野川



▲ 土井ヶ浜海水浴場



▲ 土井ヶ浜人類学ミュージアム



▲ 道の駅 北浦街道豊北



▲ 角島灯台公園



▲ 太翔館